



今週のPOINT

国内株式市場

28日の乱高下を警戒、政権与党が過半数確保ならば買戻し優勢か

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

キャノン【プライム 7751】ほか

テーマ別分析

経済対策への組入れ期待で注目の「防犯カメラ」関連

話題のレポート

半導体関連の割高感は解消中

スクリーニング分析

結果次第で短期リバウンドが期待される銘柄

週初は総選挙の結果を受けてのスタートに

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3	
			新興市場	4	
		米国株式市場		5	
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6	
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6	
2	マーケットを読む	今週のポイント		7	
		日経平均株価		8	
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	豆蔵デジタルHD 〈202A〉 グロース	9	
			チームスピリット 〈4397〉 グロース	10	
			JRC 〈6224〉 グロース	11	
			タダノ 〈6395〉 プライム	12	
			CKD 〈6407〉 プライム	13	
			KOKUSAI ELECTRIC 〈6525〉 プライム	14	
			ニデック 〈6594〉 プライム	15	
			キャノン 〈7751〉 プライム	16	
			読者の気になる銘柄	トヨタ自動車 〈7203〉 プライム	17
				日本航空電子工業 〈6807〉 プライム	17
			テクニカル妙味銘柄	セコム 〈9735〉 プライム	18
		カナデビア 〈7004〉 プライム	18		
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19	
		スクリーニング分析		20	
		先週の話題レポート		21	
		信用需給動向		22	
5	連載コラム			23	

28日の乱高下を警戒、政権与党が過半数確保ならば買戻し優勢か

■物色の対象は決算銘柄や東京地下鉄などに限定

先週の日経平均は週間で 1067.83 円安 (-2.74%) の 37913.92 円と下落。10月27日に投開票を迎える衆議院議員総選挙で、自民党、公明党の政権与党が苦戦しており、メディア各社から過半数を割り込む可能性が報じられたことで、経済政策や金融政策などの先行き不透明感が台頭。23日に上場した東京地下鉄<9023>や、ニデック<6594>などの決算発表銘柄への関心は強まったが物色は広がらず、日経平均は10月23日まで11日連続で陰線を残すなど上値の重さが目立った。日経平均がじりじりと下落するなか、積極的な買いは手控えられ、終値ベースでは10月2日以来となる38000円割れとなった。プライム市場の売買代金は連日3兆円台と低迷。為替市場ではドル・円相場が一時1ドル153円台をつけるなど、週間で4円ほど円安ドル高が進行したものの、輸出関連銘柄への影響は限定的となった。

なお、10月第3週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は現物を457億円売り越したほか、TOPIX先物を2376億円売り越し、225先物を462億円売り越したことから、合計3295億円の売り越しとなった。一方、個人投資家は現物を630億円買い越しなど合計で1025億円買い越し。自己は現物を1504億円売り越した。

■円安進むも日本株への追い風とはならず

25日の米国株式市場はまちまち。ダウ平均は前日比259.96ドル安の42114.40ドル、ナスダックは同103.12ポイント高の18518.60で取引を終了した。大証ナイト・セッションの日経225先物は、日中終値比60円高の38070円で取引を終えた。ドル・円相場は、1ドル152円台前半で推移した。

足下、為替市場で円安ドル高推移が強まっているが、トヨタ自<7203>、ホンダ<7267>などの自動車株がやや買われた程度で、今年1-3月に見られた「円安・株高」の強い展開とはならなかった。選挙結果への不透明感が高まっているため、外国人投資家が様子見姿勢を強めていることが要因と考えられる。27日の投開票の結果、政権与党が過半数割れとなれば、もう一段の株安、リスク回避の円買いが強まる可能性がある。一方、政権与党が予想外に票を集め、過半数を維持できた際は、買戻し先行で日本株は上昇するだろう。11月5日に米国では大統領選挙、国内では東京市場の取引時間の30分延長というイベントを控えていることから、一気に日経平均40000円台回復とはいかないまでも、溜まっていた不透明感や警戒感が払しょくされた時のインパクトは大きいことから39000円水準は意識されそう。

■日銀会合では「展望レポート」も公表

30日から31日にかけて、日本銀行による金融政策決定会合が開催される。先だって開催されたG20財務大臣・中央銀行総裁会議において、植田和男日銀総裁は「日銀はかなり緩和的なスタンスを維持しており、インフレ期待を新たなレベルに引き上げたい」「トータルで適切な正常化規模を重視」などと発言。今会合での政策金利の引き上げ観測はほぼ無いが、同時に発表される「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」や、会合後の植田総裁の記者会見などで、追加利上げに前向きな姿勢が確認されるかに注目が集まりそう。7月から8月にかけての金融市場の乱高下によって、日銀は「ハト派」色を強めた経緯がある。9月会合で植田総裁は、市場とのコミュニケーションを綿密に行う一方、円安ドル高の一般などから、利上げ判断には「時間的な余裕がある」との姿勢を強調した。ただ、日米金利差の拡大で円安ドル高傾向が再加速するなど状況は異なってきた。米大統領選という今年最大のイベントが直前に迫っているなか、日銀が「ハト派」から一気に「タカ派」に転換することはないと思われるが、「オントラック(予定通り)」というスタンスを日銀が変更するか注目されよう。

■1日に米雇用統計、ISM製造業景気指数

今週、国内では、10月29日に9月雇用統計、30日に10月消費者態度指数、31日に日本銀行政策金利、9月鉱工業生産(速報値)、小売業販売額などが予定されている。

海外では、29日に独・11月GfK消費者信頼感調査、米・9月卸売在庫(速報値)、8月住宅価格指数、S&Pケースシラー住宅価格(20都市)、9月JOLTS求人件数、10月コンファレンスボード消費者信頼感指数、30日に豪・第3四半期消費者物価指数、9月消費者物価指数、独・第3四半期実質GDP(速報値)、10月消費者物価指数(速報値)、欧・10月ユーロ圏景況感指数、第3四半期ユーロ圏実質GDP、米・10月ADP雇用者数、第3四半期実質GDP(速報値)、9月中古住宅販売成約指数、週次石油在庫統計、31日に豪・9月小売売上高、中・10月製造業PMI、サービス業PMI、独・9月小売売上高、欧・10月ユーロ圏消費者物価指数(速報値)、9月雇用統計、米・第3四半期雇用コスト指数、9月個人所得、PCEデフレーター、週次新規失業保険申請件数、10月シカゴ購買部協会景気指数、11月1日に中・10月財新製造業PMI、トルコ・10月製造業PMI、米・10月雇用統計、製造業PMI、ISM製造業景気指数などが予定されている。

選挙の結果次第では買戻し優勢か、物色対象が低位株から主力株に変化するかに注目

■物色の対象は主力株に変わるか

今週の新興市場は、10月27日の衆議院選挙の結果次第で一段安もありえよう。自民党、公明党の政権与党が過半数割れとなれば、プライム市場同様、売り優勢となるだろう。一方、政権与党が過半数を維持し、政権に対する警戒感が後退した場合、買戻し優勢となり、物色の対象が低位株から主力株に変わる可能性はある。ただ、投資家心理の弱さや期待される政策の柱が乏しいことなどから、仮に買戻し優勢となっても変化率はプライム市場に劣ると考える。GENDA<9166>やインテグラル<5842>など主力株を中心とした物色で、売買代金が1000億円を超えるしっかりとした地合いとなるかに注目したい。

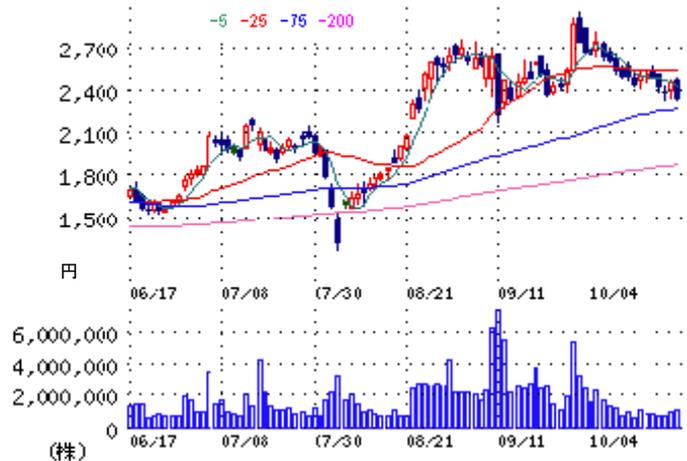
■市場の関心が高いIPOに期待

今週は、28日に音声認識処理などを手掛けるHmcomm<265A>、29日にExpert AIを活用したAIプロダクトを手掛けるSapeet<269A>がそれぞれグロース市場に上場する。ともに市場の関心が高い銘柄のため、順調な初値形成や活発なセカンダリー投資が期待できよう。両銘柄が堅調だった場合、音声認識を手掛けるアドバンスト・メディア<3773>や、AI関連のAI inside<4488>、Laboro AI<5586>、ヘッドウォータース<4011>のほか、直近IPOのAiロボティクス<247A>などに関心が向かう可能性はある。

東証グロース市場 250 指数



GENDA<9166>



インテグラル<5842>



長期金利や中東情勢の緊迫化で一進一退か/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株はまちまち。週間ベースの騰落率は、NY ダウが-2.68%、ナスダックが+0.16%、S&P500 が-0.96%とナスダックのみ上昇した。根強い米経済のソフトランディング期待や、米大統領選挙でトランプ元大統領が優位に立っているとの観測が強まり、長期金利である 10 年債利回りが 4.25%まで上昇、金利の上昇を受けて、株式の相対的な割高感を意識した売りが出やすくなった。NY ダウは、構成銘柄のネガティブ決算や、大腸菌の集団感染を巡ってマクドナルドが下落したことなどが影響し、週間ベースではマイナス。一方、強いハイテク株がけん引し、ナスダックは堅調推移となった。25 日には取引時間中の史上最高値を更新するなど、7 週連続で上昇した。

個別では、ソーシャルメディアのフェイスブックを運営するメタ・プラットフォームズは、今週の決算発表での良好な結果見通しを背景にアナリストが目標株価を引き上げたほか、ロイターニュースと長期提携により AI チャットボットで同社のコンテンツを利用すると合意したと報じられたことから上昇した。テクノロジー関連不動産管理会社のデジタル・リアルティ・トラストは、アナリストの目標株価引き上げが材料視されて買われた。靴メーカーのデッカーズ・アウトドアは、四半期決算で純売上が予想を上回ったほか、通期の見通し引き上げを受けて上昇。コーチやケイト・スペードなどの高級ブランドを運営するタペストリーは、同業カプリ買収を差し止める地裁の判決を受けて上昇。検索会社のグーグルを運営するアルファベットは、自動運転車開発部門のウェイモが 56 億ドルの資金調達したことが明らかとなり上昇。電気自動車メーカーのテスラは、第 3 四半期決算で粗利益が予想以上に改善、さらに、マスク CEO が来年の納車台数を 20%-30%増やすと表明したことで買い優勢となった。企業向け IT 管理ソフトウェアメーカーのサービスナウは、第 3 四半期の強い売上が好感されて上昇した。

一方、航空機メーカーのボーイングは、新たな労働協約案を巡りスト実施中の組合員が否決したと労組が発表、スト継続による巨額損失の増大などが警戒されて下落した。鉄道会社のユニオンパシフィックは、第 3 四半期決算の内容や第 4 四半期の見通しがアナリスト予想を下回ったことで売られた。半導体クアルコムは、英国の半導体設計会社のアーム・ホールディングスが同社とのライセンス契約取り消しを検討しているとの報道が伝わり上値が重くなった。

■今週の見通し

今週の米国株は、決算発表と経済指標に関心が向かう。今週決算発表を迎えるマイクロソフトやアップル、アマゾン、インテル、アムジェンなどは、好決算を見越した買いが既に入っており、決算に対するハードルは非常に高くなっている。決算発表後、材料出尽くし感が強まって下落する状況は警戒されよう。NY ダウ構成銘柄の決算発表がピークを迎えることから、先週のマクドナルドやボーイングのように、構成銘柄の決算に引っ張られ、主要 3 指数では NY ダウは独自の動きを見せよう。ナスダックは終値ベースでの史上最高値更新が迫っているが、今週発表が相次ぐ雇用関連の経済指標次第では、長期金利が上昇し、ハイテクなどグロース銘柄の重しとなる。週末に発表される雇用統計は、大型ハリケーンの影響やボーイング従業員によるストの影響などから弱いとの見通しだが、市場予想を大幅に超えると長期金利上昇要因となる。週末にイスラエル軍がイランの軍事施設を標的とした攻撃を実施とイスラエル軍報道官が発表していることから、中東情勢も緊迫感が増している。主要 3 指数の上値を押さえる材料が多いことから、今週の米国株は一進一退となりそうだ。

経済指標では、10 月 29 日に 9 月卸売在庫（速報値）、8 月住宅価格指数、S&P ケースシラー住宅価格（20 都市）、9 月 JOLTS 求人件数、10 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、30 日に 10 月 ADP 雇用者数、第 3 四半期実質 GDP（速報値）、9 月中古住宅販売成約指数、週次石油在庫統計、31 日に第 3 四半期雇用コスト指数、9 月個人所得、PCE デフレーター、週次新規失業保険申請件数、10 月シカゴ購買部協会景気指数、11 月 1 日に 10 月雇用統計、製造業 PMI、ISM 製造業景気指数などが予定されている。

主要企業決算は、28 日にオン・セミコンダクター、フォード、29 日にコーニング、マクドナルド、ペイパル、ゼロック、ファイザー、シスコ、HSBC、AMD、ファースト・ソーラー、アルファベット、ビザ、30 日にバイオジェン、キャタピラー、イーライリリー、グラクソスミスクライン、アムジェン、コカ・コーラ、イーベイ、メタ、マイクロソフト、マイクロストラテジー、スターバックス、ユニバーサル、アフラック、メットライフ、31 日にウーバー、ケロッグ、マスターカード、アンハイザー・ブッシュ・インベブ、アップル、アマゾン、インテル、11 月 1 日にシェブロン、エクソンなどが予定されている。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

150.50 円 ~ 154.50 円

今週のドル・円は底堅い値動きか。10月27日投開票の日本の衆議院選挙（総選挙）で自民・公明の連立与党が過半数議席を下回った場合、リスク回避の円買いがやや強まる可能性がある。連立与党が過半数議席を維持し、石破首相の求心力が高まった場合は、金融正常化を今後推進するとみられ、中期的には米ドル安円高につながる要因となり得る。

ただ、米国経済の軟着陸への期待が高まった場合、リスク回避的なドル売り・円買いは抑制されるとの見方も多い。また、日本銀行は金融正常化を推進する方針を堅持するものの、10月30-31日の金融政策決定会合では現行政策の維持が予想される。日銀植田総裁は早急な利上げには慎重であり、追加利上げは年明け以降との見方からドル高円安の基調が続くそう。

なお、米大統領選に向けた情勢調査によると、激戦州と呼ばれる複数の州で共和党のトランプ候補の支持率が民主党のハリス候補を上回り、トランプ氏の再登板を織り込む展開が続く。トランプ氏の政策は一般的にインフレを招くとの見方から、ドル高の一因になるとの声が聞かれている。

【米7-9月国内総生産（GDP）速報値】（10月30日発表予定）

10月30日発表の米7-9月期国内総生産（GDP）速報値は前期比年率+3.0%と成長を維持し、軟着陸期待のドル買い要因に。米大統領選の判断材料になる可能性もある。

【米・10月雇用統計】（11月1日発表予定）

11月1日発表の米10月雇用統計では失業率は4.1%、非農業部門雇用者数は前月比+12万人、平均時給は前年比+4.0%の市場観測。非農業部門雇用者数が市場予想を下回った場合はドル売り要因となる。

債券市場

債券先物予想レンジ

143.70 円 ~ 144.20 円

長期国債利回り予想レンジ

0.945 % ~ 0.985 %

■先週の動き

先週（10月21日-25日）の債券市場で長期債利回りは弱含み。10月24日の取引で米長期金利が時間外取引で低下していることや為替相場の円高反転を受けて中長期債が買われた。20年国債入札は低調な結果となったことでリスクヘッジ目的の売りが優勢になる場面もあったが、日本銀行は追加利上げを急いでいないとの見方が増えており、10年債利回りがやや上昇する局面で一部の国内投資家の買いが入ったようだ。25日の取引では米長期金利が時間外取引で一段と低下したこと、超長期債の買いが入ったことから、10年債利回りは弱含みとなった。衆院選挙では与党の苦戦が伝えられており、政局の不安定化によるリスク回避や金融正常化の遅れが懸念されていることも長期国債などの利回り低下につながったようだ。

10年債利回りは0.968%近辺で取引を開始し、22日に一時0.998%近辺まで上昇したが、週後半にかけてじり安となり、25日の取引で一時0.949%近辺まで低下し、0.956%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物12月限は強含み。143円90銭で取引を開始し、22日の取引で143円57銭まで売られたが、週後半は為替相場の円高反転や日経平均の軟調地合いを意識した買いが強まる展開となった。24日の夜間取引で144円10銭まで買われており、25日に143円88銭まで反落したものの、取引終了時点にかけて値を戻し、144円06銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週（10月28日-11月1日）の債券市場では、長期金利がやや上昇する可能性がある。市場参加者の間からは「衆議院選挙がどのような結果になっても財政拡張に対する警戒感が高まるのではないかと」との声が聞かれている。また、週末に発表される米雇用統計や11月5日に行われる米大統領選挙に向けて米長期金利の高止まりが予想され、日本国債10年利回りの低下を阻む可能性がある。米10月雇用統計についてはハリケーンやストライキによる特殊要因があり、非農業部門雇用者数が9月実績を下回っても追加利下げ期待が大幅に高まることは考えにくい。

債券先物12月限は伸び悩む可能性がある。衆院選挙で連立与党が過半数議席を下回った場合、リスク回避的な買いが一時的に強まる可能性があるが、石破政権下で13兆円規模の補正予算の影響が懸念されていること、過半数割れの場合は積極的な財政政策が見込まれる。財政拡張への懸念が消えない場合、株安・円高の状況下でも債券先物は144円台前半で上げ渋り、主に144円を挟んだ水準で推移する可能性がある。

選挙結果次第で短期的な乱高下の公算大、その後は米大統領選控えての様子見も

先週の日経平均は続落。買い手控えムードが強まる中で、上値の重さが目立つ展開となった。週末の衆院総選挙で与党が苦戦などと伝わり、警戒感につながる形となったもよう。また、ドル・円相場は円安基調が続いたものの、米長期金利上昇をネガティブに捉える動きが優勢だった。業種別では、円安進行を好感して輸送用機器のみプラスサイドだった。自動車株は米 GM の好決算も刺激材料となった。一方、米長期金利上昇にもかかわらず銀行株が軟化、電力株とともに軟調な動きが続いた。海運大手マークスの好決算が海運株の刺激材料となる場面も。米長期金利上昇で中小型グロースは総じて軟調だった。

個別では、7-9 月期の決算発表がスタートして手掛かり材料となった。ニデックはコンセンサス上振れ決算が素直に好感されたが、業績予想を下方修正のキヤノンが売り先行の展開となった。ほか、ブックオフ、キヤノン電子、航空電子なども決算好転の動き。一方、コメリ、KOA、富士通ゼネなどは決算後に売り優勢。三和 HD、明星工業、大東建託、バンナム、能美防災などは上方修正が好感され、ラクーンは高水準の自社株買いが材料視される。コーエーテックモや東京建物にファンドの大量保有が思惑材料に。アサヒビールは値上げ発表を好感。半面、東洋証券は上半期減益見通しで売られ、コーエーテックモは上半期上方修正も出尽くし感が優勢。IDOMは金融庁が立ち入り検査と伝わり警戒感高まる形に。ネットプロは金融庁が BNPL 規制を検討と伝わり警戒材料に。IPO の東京地下鉄は順調なスタートを切る。

先週は衆院総選挙に対する警戒感が強まる形となっており、仮に、自公過半数確保ならば、市場には買い安心感が強まる可能性が高いだろう。いずれにせよ、選挙結果によって短期的に相場は上下に大きく変動することになるとみられる。ただ、自公過半数確保でも、次に米大統領選が控えているため、上昇局面も短期的なものとなり、再度様子見ムードが強まっていく公算ではある。7-9 月期決算発表が本格化する中、すぐに個別物色主導の展開に移行していくことになりそうだ。

29 日にはコマツ、キーエンス、NEC、30 日には日立、アドバンテスト、京セラ、エムスリー、関西電力、31 日には第一三共、武田、デンソー、富士通、ルネサス、JR 東、パナソニック、レーザーテック、商船三井、ANA、1 日には三菱商事、三井物産、村田製、TDK、野村など主力銘柄の決算発表が集中する。円高反転の影響や中国市場の先行き見通しなどが主な注目点となる。また、海外でも、フォード、AMD、コーニング、アルファベット、ファイザー、キャタピラー、メタ、マイクロソフト、サムスン、アップル、アマゾン、エスティローダー、インテル、エクソンモービルなど、国内企業に影響を与える主要銘柄の発表が多い。さらに、欧米の GDP、中国 PMI、米雇用統計など経済指標も数多く予定されている。今回の米雇用統計はかく乱要因が多いが、コンセンサス大きく上振れなら、利下げペース一段の鈍化観測へとつながりリスク要因となる。日銀金融政策決定会合では、足元の円安反転を受けたハト派姿勢からの変化が警戒材料に。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	上位セクター	騰落率 (%)
4902	コニカミノルタ	602.1	25.57	7599	IDOM	994.0	-21.79	輸送用機器	0.47
4343	イオンファンタジー	2,406.0	16.63	7383	ネットプロテクションズホールディングス	319.0	-15.61	食料品	-1.12
4933	I-o-n-e	1,943.0	13.49	6755	富士通ゼネラル	1,775.0	-14.58	その他製品	-1.13
6744	能美防災	3,075.0	9.12	6999	KOA	999.0	-12.37	空運業	-1.15
6594	ニデック	3,123.0	8.83	4385	メルカリ	2,096.5	-12.26	精密機器	-1.26
9229	サンウェルズ	1,659.0	8.01	9629	ピー・シー・エー	1,980.0	-12.00	ゴム製品	-1.49
6814	古野電気	2,378.0	7.80	7034	プロレド・パートナーズ	445.0	-11.53	鉱業	-1.54
9278	ブックオフグループホールディングス	1,476.0	7.42	2685	アダストリア	3,475.0	-11.35	下位セクター	騰落率 (%)
8157	都築電気	2,512.0	7.26	4483	JMDC	4,036.0	-11.26	銀行業	-5.15
9601	松竹	10,350.0	6.70	4506	住友ファーマ	593.0	-11.23	電力・ガス業	-4.94
8185	テヨダ	1,308.0	5.65	5838	楽天銀行	3,035.0	-11.00	証券業	-4.49
7278	エクセディ	3,685.0	5.44	3660	アイスタイル	426.0	-10.88	機械	-4.44
4722	フューチャー	1,840.0	5.02	2884	ヨシムラ・フード・ホールディングス	1,348.0	-10.49	保険業	-4.44
7780	メニコン	1,615.0	4.80	9416	ビジョン	1,027.0	-10.46	水産・農林業	-3.91
7734	理研計器	4,250.0	4.42	4443	Sansan	2,105.0	-10.31	サービス業	-3.61

方向感定まらず、強弱指標混在も 25 日線乖離銘柄はボトム示唆

■上下どちらの方向にも一気に水準を変える可能性も

先週（10月21-25日）の日経平均株価は2週連続で下落した。1週間の下げ幅は1067.83円（前週624.05円）だった。

東証と大阪取引所の投資部門別売買状況では、現物・先物合算で海外投資家は10月3週（15-18日）、売り越しに転じ（3295億円、前週は4935買い越し）、現物も売り越しした（457億円、前週は2646億円買い越し）。

先週の日経平均は10月15日高値40257.34円を直近ピークとする短期的な下降トレンドが継続。22日には終値が25日移動平均線を下回り、23日までローソク足が11本連続陰線を引き、200日割れで取引を終え、足元の地合い悪化を窺わせた。

今週は方向感が定まりにくい相場となろう。一旦下押しするリスクも意識されるが、25日線割れ銘柄数はボトム圏接近を示唆しており、鋭角的な値戻しの可能性もありそうだ。

5日線が急角度で下降する一方、25日線や13週線は上向きをキープしており、強弱が定まりにくい形状にある。

一目均衡表は三役好転下の強気形状を維持しているが、29日に変化日を迎えることから、株価が上下どちらの方向にも一気に

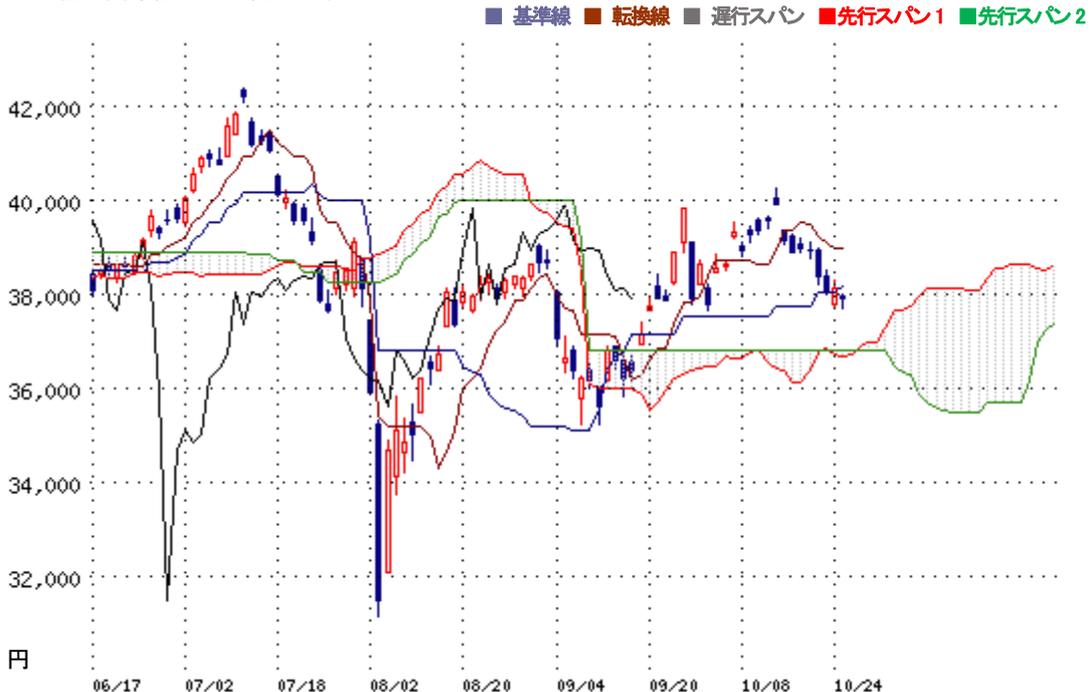
に水準を変える可能性に留意が必要となろう。

先週末終値が25日線を上回る銘柄は日経平均採用225銘柄で29銘柄（先々週末10月18日は115銘柄）、東証プライム全上場銘柄で11%（同48%）とボトム圏近くに減少し、相場は反転材料待ちの局面にあるとみられる。

ボリンジャーバンドでは、株価が中心線を下抜け、先週末終値は -1σ 割れで売り手優位の位置にある。週末の 1σ 相当の値幅は先週までの3週で1235.80円→1210.71円→724.70円と縮小し、各バンド間隔が狭まる5本線収束が進んでいるため、 0.5σ 程度の300円台後半の株価変動でも相場の局面が急変する可能性に留意したい。

上値では25日線（先週末38642.42円）が抵抗線として意識されるが、25日線を上抜ければ売り手優勢を返上する形になり、上値追いトレンド復帰につながろう。下値では、節目の37000円からボリンジャーバンドの -2σ （先週末36893.01円）が支持帯として作用しそうだ。 -2σ 手前で下げ止まれば底値形成後の反転開始を期待できる反面、 -2σ を下回ると下値拡張に向かうリスクが強まろう。

一目均衡表（日経平均）



豆蔵デジタルホールディングス〈202A〉グロース

ITソリューション総合会社から脱却へ、株主還元にも積極的

■インテグラル支援のもと組織再編

今年6月上場。同社グループは20年に上場廃止となったのち、インテグラル〈5842〉支援のもと組織再編。「教育」、「コンサルティング」、「開発支援」にいち早く取り組んできた(株)豆蔵を核として、これまでのITソリューション総合会社からデジタルシフト・サービスカンパニーへと軸足を移した。23年3月期におけるプライム上場企業(含む関連会社)からの売上高比率は86.0%、プライム上場企業(含む関連会社)との平均取引年数は約8年となっている。

■株主還元にも積極的

25年3月期第1四半期は、売上高が27.17億円(通期計画に対する進捗率25.8%)、営業利益が5.33億円(同25.8%)と順調な滑り出しとなった。生成AIをさらなるビジネスチャンスととらえており、27年3月期を最終年度とする3カ年中期経営計画では、売上高は平均10%~12%成長、営業利益は同15%~17%成長

売買単位	100 株
10/25 終値	1195 円
目標株価	1500 円
業種	情報・通信

を目標に掲げている。また、株主還元にも積極的で、今期配当は1株あたり59.58円を予定しており、10月25日終値水準で予想配当利回り5.0%と高い。安定的な業績推移が期待できる高配当株としての側面から、底堅い動きが期待できよう。株価は9月高値を突破した1500円をひとまずの目標とする。

★リスク要因

エンジニア人材確保の難航など。

202A: 日足

先週末の下落で二番底形成となるか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
-	-	-	-	-	-	-	-
2022/3連	8,174	-	651	674	-	1,133	14.17
2023/3連	8,859	8.4%	1,562	1,589	135.8%	1,103	13.78
2024/3連	9,586	8.2%	1,799	1,820	14.5%	1,159	14.49
2025/3連予	10,552	10.1%	2,071	2,050	12.6%	1,366	85.18

チームスピリット〈4397〉グロース

エンタープライズ営業体制を強化中、今期は黒字転換見通し

■ANAグループへの導入を発表

勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議、社内 SNS、カレンダーなど、社員が毎日使う社内業務を一元化したクラウドサービス「TeamSpirit」を提供する SaaS 企業。24 年 8 月期において契約社数は 1967 社（前期比 167 社増）、月次解約率 0.33%（同 -0.18pt）。10 月 11 日には、ANA ホールディングス〈9202〉がグループ企業 25 社に「TeamSpirit」を導入したと発表している。

■今期は黒字転換見通し

24 年 8 月期は、売上高 44.21 億円（前期比 16.1%増）、営業損失 0.87 億円（同 1.32 億円減）で着地。計画的に戦略投資を実施した結果、大幅な赤字幅縮小となった。25 年 8 月期は、売上高 50 億円（前期比 13.1%増）、営業利益 1.5 億円と黒字転換達成を見込む。決算説明会では、これまでの経営効率化の取り組みに加え、シンガポール子会社の事業縮小によるコスト合理化効果などにより、十分達成可能な数値と自信をのぞかせていた。一方、営

売買単位	100 株
10/25 終値	329 円
目標株価	500 円
業種	情報・通信

業体制の現状における課題やミッド・スモール領域での競争激化といった状況をふまえ、従来の ARR70 億円の達成時期を 2 年程度遅らせるなど、中期経営計画の見直しもはかった。ただ、事業の足固めをしっかりと行うことで、中長期的には ARR100 億円達成への実現確度を高めることにつながるととらえたい。株価は今年 4 月ぶりの 500 円台乗せを目標とする。

★リスク要因

競合他社との競争激化など。

4397: 日足

25 日線・75 日線のデッドクロス回避なるか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/8連	2,896	18.4%	169	174	-40.4%	122	7.57
2022/8連	3,261	12.6%	-118	-126	-	-90	-
2023/8連	3,809	16.8%	-219	-226	-	-189	-
2024/8連	4,421	16.1%	-87	-89	-	-180	-
2025/8連予	5,000	13.1%	150	150	-	105	6.39

JRC 〈6224〉 グロース

今期業績は増収増益見通し、M&Aによる既存事業強化に期待

■ベルトコンベヤ部品で国内シェア1位

屋外用ベルトコンベヤ部品の製造・販売、コンベヤ課題解決ソリューションを提供する「コンベヤ部品事業」が主力。ベルトコンベヤ部品で国内シェア1位、業界内において全国的に製品を供給できるのは同社のみとなる。10月11日に25年2月期上期決算を発表し、売上高が前年同期比で12.7%増、営業利益は同30.8%増と大幅増収増益で着地。コンベヤ事業では、安定した更新・リプレース需要に加え、環境プラント向けソリューションが力強く成長するなか、海外事業においても順調に推移した。通期計画は売上高が前期比12.2%増、営業利益は同24.5%増と4期連続の増収増益に加え、増配を目指している。

■M&Aを活用して既存事業の成長を想定

株価は8月の下落を取り戻したあと、10月以降再度軟調に推移している。ただ、今後、コンベヤ及び周辺領域でのM&Aを活用し、川上から川下までの一気通貫トータルソリューションの提

売買単位	100 株
10/25 終値	892 円
目標株価	1140 円
業種	機械

供能力を拡大する予定。既存事業が順調な中、24年に入ってから5件のM&Aを実施し、コンベヤ部品事業・ロボットSI事業のポートフォリオの強化が進んでおり、今後の持続的な成長に期待したい。数年内にEPSは114円レベルまで増加することが想定され、目標株価はこれのPER約10倍となる1,140円とする。

★リスク要因

M&Aによる利益率が低下する可能性など。

6224: 日足

10月に入って軟調推移も買い戻し向かうか注目。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/2単	6,316	-4.3%	-	340	-34.7%	174	276.68
2022/2連	8,085	-	856	844	-	545	864.29
2023/2連	8,961	10.8%	1,252	1,270	50.5%	830	1,316.80
2024/2連	9,473	5.7%	1,270	1,273	0.2%	847	67.14
2025/2連予	10,627	12.2%	1,582	1,604	26.0%	1,069	88.22

タダノ〈6395〉プライム

建設用クレーンで国内シェア 62%、脱炭素化に向け展開加速

■建設用クレーンが主力

建設用クレーンが売上高の 71%を占め、車両搭載型クレーンが 6%、高所作業車が 6%などとなっている。車両運搬車や穴掘建柱車、照明車なども手掛ける。地域別では日本が 36%、北米 32%、欧州 11%、中東 8%など。建設用クレーンのシェアは国内 62%、世界 15% (24 年 3 月期)。昨年 12 月に世界初のフル電動ラフテレーンクレーン(運転席で走行とクレーン操作が行える自走式クレーン)を発売。また、この 7 月には風力発電機の世界大手であるデンマークのベスタス社と提携し洋上風力向けクレーンを初めて手掛けるなど、脱炭素化に向けた展開を加速している。

■24 年 12 月期上期営業利益は 39.6%増

24 年 12 月期上期売上高は 1413.81 億円(前年同期比 6.1%増)、営業利益は 122.83 億円(同 39.6%増)。売価改善や円安効果が寄与した。24 年 12 月期通期売上高は 3150 億円(前期比 12.4%増)、営業利益は 200 億円(同 9.0%増)予想。下期の為替

売買単位	100 株
10/25 終値	936.8 円
目標株価	1256 円
業種	機械

の前提は1ドル=140円。9月に、米建機メーカーのマニテックス社を約 141 億円で完全子会社化すると発表している。25 年 1 月の買収完了を計画しており、今後の収益寄与が期待される。株価は上値が重い業績は好調だ。まずは 7 月高値 1256 円を目標株価としたい。

★リスク要因

円相場の急激・大幅な変動など。

6395:日足

上値はやや重い下値の堅い展開。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/3連	186,040	-18.4%	-4,196	-4,683	-	-12,987	-
2022/3連	205,661	10.5%	5,251	5,454	-	13,096	103.33
2022/12連	192,932	-6.2%	7,191	6,540	19.9%	2,210	17.43
2023/12連	280,266	45.3%	18,349	16,367	150.3%	7,773	61.26
2024/12連予	315,000	12.4%	20,000	17,000	3.9%	9,500	74.85

CKD〈6407〉プライム

FA 機器や自動機械装置など手掛ける、第1四半期営業利益は52.0%増

■半導体工場などにFA機器を提供

事業セグメントは「機器商品」と「自動機械装置」。半導体や自動車、工作機械、医療・医薬、FPD(フラットパネルディスプレイ)、二次電池などの工場向けFA機器や複数の機器を連携したシステムユニットなどの「機器商品」が主力で、売上高の90%を占める(24年3月期)。製品は空気圧シリンダなどの「駆動機器」、ダイレクトドライブモータや小型搬送ユニットなどの「電動機器」、「空気圧機器」、「流体制御機器」、薬液や高真空・特殊ガス用の「ファインシステム機器」など。「自動機械装置」では、薬品・食品の包装機やリチウムイオン電池用巻回機などを手掛ける。

■インド初の工場竣工

25年3月期第1四半期売上高は380.78億円(前年同期比15.3%増)、営業利益は43.65億円(同52.0%増)。旺盛なAI関連や車載電池投資のほか、国内でのジェネリック医薬品の供給不安を背景に安定供給に向けた投資が継続し、追い風となっ

売買単位	100 株
10/25 終値	2533 円
目標株価	3130 円
業種	機械

た。25年3月期通期売上高は1480億円(前期比10.1%増)、営業利益は175億円(同33.4%増)予想。この5月にインド初の工場が竣工、市場拡大が見込まれる同国での事業を加速させる。株価は調整場面だが業績は好調だ。まずは10月高値3130円を目標株価としたい。

★リスク要因

金利上昇による産業界の設備投資意欲の減退など。

6407:日足

業績は好調。株価下落場面は投資チャンスか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/3連	106,723	6.0%	7,698	7,823	45.6%	5,273	80.23
2022/3連	142,199	33.2%	17,879	18,043	130.6%	12,567	188.58
2023/3連	159,457	12.1%	21,170	21,181	17.4%	14,788	221.76
2024/3連	134,425	-15.7%	13,113	13,048	-38.4%	8,338	124.94
2025/3連予	148,000	10.1%	17,500	17,500	34.1%	11,800	176.74

KOKUSAI ELECTRIC <6525> プライム

半導体成膜・トリートメントプロセス装置が主力、今期営業利益は45.7%増予想

■「バッチ式」など先端手法で強み

半導体製造装置を手掛ける。「成膜プロセス装置」と「トリートメント(膜質改善)プロセス装置」が主力。「成膜プロセス装置」は、ウェーハの電子回路を形成する際に回路素材となる薄膜を形成する装置。数十枚以上のウェーハを一度に成膜することができるプロセス技術(バッチ式)や、原子層レベルで成膜する手法(ALD)が同社の強みとなっている。「トリートメントプロセス装置」は、成膜後に不純物を除去する装置。半導体デバイスの微細化・複雑化に伴い需要が高まっている。地域別売上収益(売上高)は、中国が46%、韓国21%、日本12%、台湾10%など(24年3月期)。

■25年3月期第1四半期は大幅増収増益

25年3月期第1四半期売上収益は652.24億円(前年同期比99.4%増)、営業利益は178.78億円(同4.4倍)。生成AIの普及等を背景に先端製品に対する需要が回復基調にあることや、中

売買単位	100 株
10/25 終値	2742 円
目標株価	3390 円
業種	電気機器

国向け非先端装置の前倒し出荷もあり、大幅な増収増益となった。25年3月期通期売上収益は2175億円(前期比20.3%増)、営業利益は448億円(同45.7%増)予想。AI関連向け最先端製品や中国向け非先端製品の旺盛な需要が続くと見ている。株価は調整場面だが業績は好調だ。まずは10月高値3390円を目標株価としたい。

★リスク要因

中国の景気低迷長期化など。

6525: 日足

8月急落時の安値水準まで下落。業績は好調であり投資チャンスの可能性。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/3連I	178,023	163.3%	-	50,504	320.2%	33,043	430.26
2022/3連I	245,425	37.9%	70,652	69,264	37.1%	51,339	222.83
2023/3連I	245,721	0.1%	56,064	55,895	-19.3%	40,305	174.93
2024/3連I	180,838	-26.4%	30,745	29,757	-46.8%	22,374	96.82
2025/3連I予	217,500	20.3%	44,800	44,000	47.9%	29,000	123.52

ニデック〈6594〉プライム

収益性の高い事業ポートフォリオへの転換が進む

■営業利益は4~9月期として過去最高を更新

10月23日に発表した25年3月期第2四半期業績は、売上が前年同期比11.8%増の1兆2938億円、営業利益が同4.9%増の1210億円だった。家電・商業・産業用および機器装置において、下期以降の収益性の改善を目指し、分散拠点の合理化や生産体制の集約等を進めた。先行してコスト負担が発生した影響もあったものの、精密小型モータでは高付加価値の水冷モジュールを新規投入し、収益性の高い事業ポートフォリオへの転換が進み、営業利益は4~9月期としては過去最高を更新した。

■イーアクスル事業の黒字化図る

電気自動車(EV)駆動装置「イーアクスル」事業について、中国市場での価格競争の激化を受けて受注を絞り込んでいたが、これまでのユニット販売から、モータなどの内蔵部品を単体で販売する事業を強化することで黒字化を図る。決算発表を受けた24

売買単位	100 株
10/25 終値	3123 円
目標株価	3500 円
業種	電気機器

日の株価反応は買いが先行した。一時急落する場面もみられたが、切り返しをみせており、25日は続伸で75日線を突破。ボトム圏からのリバウンド継続を想定し、目標株価は週足の一目均衡表の雲上限水準3500円とする。

★リスク要因

EV市場の低迷。

6594:日足

75日線突破から200日線が射程に入る。



会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/3連I	1,618,064	5.4%	159,970	152,937	45.4%	121,945	208.19
2022/3連I	1,918,174	18.5%	170,374	170,032	11.2%	135,759	232.40
2023/3連I	2,230,027	16.3%	89,923	110,435	-35.1%	36,982	64.26
2024/3連I	2,347,159	5.3%	162,799	202,612	83.5%	125,144	217.79
2025/3連I予	2,500,000	6.5%	240,000	250,000	23.4%	185,000	160.98

キヤノン〈7751〉プライム

生成人工知能（AI）の後工程向けの装置が好調

■パワー半導体や生成AI向け装置の受注伸びる

10月24日に発表した24年12月期第3四半期業績は、売上高が前年同期比7.3%増の3兆2361億円、営業利益が同14.4%増の2966億円だった。一部地域で景気低迷の影響を受けたが、総じて堅調に推移した。通期については前提とする為替相場の見直しにより、純利益を3350億円から3250億円に下方修正している。半導体露光装置に関して、用途についてはパワー半導体、生成人工知能(AI)の後工程向けの装置の受注が伸びている。

■純利益の下方修正は想定内

決算を受けた株価への初動反応は純利益の下方修正が嫌気されたが、ドル・円相場は7月の1ドル=161円台から9月半ばには140円台へと円高ドル安に振れていたこともあり、予想されていたと考えられる。年間配当は前期比10円増の1株あたり150

売買単位	100 株
10/25 終値	4959 円
目標株価	5530 円
業種	電気機器

円と、従来計画を据え置いており、押し目狙いのスタンスに向かわせよう。株価は75日線水準まで下げた後に持ち直し、終値では25日線を上回っている。上向きで推移する13週線を支持線としたトレンドを継続しており、目標株価は過足のボリンジャーバンドの+3σ水準の5530円とする。

★リスク要因

為替相場の急激な変動。

7751:日足

75日線を支持線としたリバウンドで25日線を回復。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2020/12連S	3,160,243	-12.1%	110,547	130,280	-33.4%	83,318	79.37
2021/12連S	3,513,357	11.2%	281,918	302,706	132.4%	214,718	205.35
2022/12連S	4,031,414	14.7%	353,399	352,440	16.4%	243,961	236.71
2023/12連S	4,180,972	3.7%	375,366	390,767	10.9%	264,513	264.20
2024/12連S予	4,540,000	8.6%	455,500	475,500	21.7%	325,000	336.17

トヨタ自動車 プライム<7203>/総選挙後も米大統領選が不透明要因に

23日には大幅続伸。当日は同社のほか、SUBARU やホンダなども上昇率上位にランキングされるなど、自動車株に買いが優勢となった。米長期金利の上昇を背景にドル・円相場は151円台半ばにまで上昇しており、買い材料視される形となった。また、米国では自動車大手のGMが第3四半期決算を発表、市場コンセンサスを上回ったほか、通期業績見通しを再度上方修正、株価も10%近い上昇となり、国内関連株の刺激材料にもつながる。

その後もドル・円相場は152円台での推移が続いており、円安メリットの自動車株には見直し余地が残ろう。衆院選で連立政権が過半数を獲得すれば、一段と買い安心感が強まっていく可能性は高いといえよう。ただ、11月5日には米大統領選が予定されており、再度不透明感が強まるタイミングも早まる。トランプ氏復権の際には関税リスクが当面重しとなる。



日本航空電子工業 プライム<6807>/7月戻り高値水準では伸び悩む公算も

23日に第2四半期の決算を発表しており、これを受けて株価は急伸となった。7-9月期営業利益は54.4億円で前年同期比10.2%増となり、48億円程度の市場予想を上回る着地に。ワイヤーハーネスの収益性が改善して、粗利益率が前年同期や前四半期と比較して大きく上昇する形になっている。通期計画は170億円、前期比17.9%増を据え置き。携帯機器など下期にかけての不透明感は残すものの、実績値の上振れ着地を評価する動きが先行へ。

携帯機器向けは上期への前倒し影響もあったとみられ、第3四半期は前四半期比で減少見込み。自動車や産機・インフラ向け売上は下方修正。通期業績コンセンサスの切り上げりは限定的ともみられる。米大統領選結果次第では、中国市場の先行き見通しが悪化する公算もあり、7月の戻り高値水準では上値が一旦重くなる可能性が高そうだ。



セコム 東証プライム<9735>

週足ベースのローソク足。9月の戻り高値5615円の後は10月1週安値5202円と先週安値5215円を付けて52週線付近で下値を固める形となった。先週は緩やかに上昇する52週線を13週線が下から上に抜いてゴールデンクロスを示現しており、中長期の上昇トレンド入りが予想される。26週線は計算起点となる株価が下落局面にあるため、11月中に上向きに転換し、上昇基調が一段と鮮明になろう。



カナデビア 東証プライム<7004>

日足ベースの一目均衡表。先週末はローソク足が陽線を描き、雲上限を下回ることなく推移し、10月3日の戻り高値を超えて買い進まれた。遅行線が強気シグナルを増大したほか、転換線が上向きに転じて短期的な調整完了を示唆し、三役好転の強気形状を補強する形状となった。先週末高値比5円高の1047円で8月1日安値を下端とするマド埋めが完了し、その後の株価上昇の加速に展望が開けよう。



テーマ別分析: 経済対策への組入れ期待で注目の「防犯カメラ」関連

■防犯カメラの設置費用に補助金を支給する案が浮上

選挙後の新たな物色テーマとして防犯（監視）カメラ関連が注目度を高めてきそうだ。首都圏で今夏以降に相次いだ一般住宅への強盗事件を受けて、政府が新たな経済対策に防犯対策の強化支援を盛り込む方向で調整に入ったことが 21 日に報じられた。その具体策の一つとして、防犯カメラの設置費用に補助金を支給する案が浮上している。具体的な規模は今後検討される見込みだが、治安維持、事件捜査の有力材料、犯罪の抑止力とし防犯カメラの増設は社会的ニーズも高まることが予想される。一般道路、大型商業施設、学校など屋内外の設置拡大が期待される。関連株には TOA<6809>、タムロン<7740>、ソラコム<147A>など好業績株も散見されることが特徴でもある。

■主な「防犯カメラ」関連銘柄

コード	銘柄	市場	10/25 株価	概要
147A	ソラコム	グロース	1348	工事が不要な公園内カメラ監視システムで実績
2676	高千穂交易	プライム	3980	監視カメラのほか、店舗向け防犯情報システム手掛ける
3076	あい ホールディングス	プライム	2288	防犯システムでメガバンク・官公庁向け等で実績
3694	オプティム	プライム	569	監視カメラの映像データをAIで分析するサービス展開
4375	セーフィー	グロース	731	クラウド防犯カメラ、施設向けAI警備システム展開
4902	コニカミノルタ	プライム	602.1	クラウド防犯カメラメーカーで設置工事も請け負う
6235	オプトラン	プライム	1858	防犯カメラ投光器、ナンバープレート認証システム展開
6457	グローリー	プライム	2467	顔認証技術を採用した防犯カメラ・防犯設備を展開
6632	JVCケンウッド	プライム	1165	ネットワーク防犯・監視カメラシステムを展開
6675	サクサ	スタンダード	2357	警備セキュリティシステム、防犯送信機を展開
6718	アイホン	プライム	2890	テレビドアホンなど防犯機器関連製品を手掛ける
6752	パナソニック ホールディングス	プライム	1227.5	パナソニック・コネク社が防犯システム手掛ける
6755	富士通ゼネラル	プライム	1775	店舗、商店街向け簡易防犯カメラシステムを事業化
6758	ソニーグループ	プライム	2645	ネットワークカメラなど防犯・監視カメラを展開
6809	TOA	プライム	950	街頭防犯システム、タウンレコーダー等を事業化
6841	横河電機	プライム	3436	グループのアムニモ社が監視カメラシステムを展開
6914	オプテックスグループ	プライム	1607	ナンバープレート認証システムや警備システム手掛ける
6929	日本セラミック	プライム	2524	赤外線センサ、超音波センサ大手で防犯に寄与
7740	タムロン	プライム	4290	監視カメラ用レンズの需要増加中、12月期業績増額済み
7751	キヤノン	プライム	4959	監視カメラで世界大手のアクシス社を傘下に持つ

出所：フィスコ作成

総選挙の結果次第で短期リバウンドが期待される銘柄

■週初は総選挙の結果を受けてのスタートに

10月27日には衆議院議員総選挙が行われ、今週はその選挙結果を受けてのスタートとなる。先週末にかけては、連立与党の苦戦が意識される形から株式市場には買い手控えムードが強まっており、仮に、自公連立政権が過半数を確保できれば、買い安心感が強まる公算が大きいだろう。足元の業績が好調で収益性が高く、なおかつ、直近の株価下落率が大きかった銘柄などは、短期的なリバウンド余地が広がるものと考えられる。なお、7-9月期決算発表が本格化している中、当該決算期以外の銘柄の方が、より安心感は強まりやすくなると考えられる。

スクリーニング要件としては、①3、6、9、12月期決算企業を除く、②10月15日終値比での株価下落率が10%以上、③前期実績、今期予想ともに営業2ケタ増益、④今期予想ROEが10%以上、⑤時価総額が50億円以上。

■短期リバウンド期待銘柄

コード	銘柄	市場	10/25株価 (円)	時価総額 (億円)	株価騰落率 (%)	予想ROE (%)	予想 1株利益 (円)
135A	VRAIN Solution	グロース	2,197.0	222.1	-12.12	34.88	52.91
2884	ヨシムラ・フードHD	プライム	1,348.0	324.1	-16.48	11.34	47.02
3479	ティーケーピー	グロース	1,202.0	509.4	-18.12	12.14	131.43
4198	テンダ	スタンダード	848.0	55.9	-16.94	14.30	60.68
4413	ボードルア	グロース	4,535.0	726.2	-18.87	28.19	102.74
5575	Globee	グロース	1,012.0	51.3	-15.31	30.44	54.02
5889	Japan EyewearHD	スタンダード	2,553.0	611.3	-10.23	17.99	111.93
6044	三機サービス	スタンダード	880.0	57.9	-11.02	13.46	98.40
6532	ベイカレント	プライム	4,960.0	7,708.4	-10.81	29.56	199.49
7095	Macbee Planet	プライム	2,385.0	349.5	-10.77	23.49	199.63
7683	ダブルエー	グロース	1,367.0	260.7	-13.21	13.20	79.34
9168	ライズ・コンサルティング	グロース	649.0	158.7	-12.30	21.16	56.87

(注) 株価騰落率は10月15日終値比

出所：フィスコアプリより作成

半導体関連の割高感は解消中

■半導体関連銘柄のPERは先行きの売上高の伸び鈍化を懸念して大きく調整

SMBC日興証券では、円安要因による株高は一服し、今後は中間決算と来期業績を見据えた展開を予想している。銘柄選別の観点では通期会社予想の上方修正よりも「進捗率」や「来期業績」に注目するべきと考えており、なかでも「電気・精密」「機械」セクターに分類される半導体関連銘柄が市場の関心を集めると推察している。マクロの観点から半導体を取り巻く環境を振り返ると、先々売上高の伸びが鈍化する見通しであるものの、グローバル製造業PMIの落ち込みと比べると堅調さが際立っていると分析。一方、半導体関連銘柄のPERは先行きの売上高の伸び鈍化を懸念して大きく調整していると指摘。対TOPIX（除く半導体関連）との利益回り差も平均回帰し始めており、バリュエーションの調整とともに相対的な割高感の解消が進んでいると考察している。今後発表される決算の内容次第では、半導体関連銘柄が再び物色され始める可能性もあると注目している。

「SOX指数と正の相関があり、直近の有報に半導体関連事業に関する記載がある銘柄」(SMBC日興証券)

コード	企業名	セクター	時価総額 (十億円)	年初来 リターン (vsTOPIX、 %)	SOX指数 との 相関係数	米国 売上高 比率(%)	中国 売上高 比率(%)	PBR (倍)	PER (FY2、倍)	PER (2015年以降 の平均、倍)	経常 増益率 (FY2、%)
8035	東京エレクトロン	電気機器	11,083	-20.6	0.68	9.2	43.4	6.3	18.3	17.3	23.5
6146	ディスコ	機械	4,152	-4.1	0.58	13.1	35.1	10.2	28.7	21.6	16.5
6857	アドバンテスト	電気機器	6,105	52.5	0.55	7.7	31.5	14.2	38.2	20.5	37.7
7729	東京精密	精密機器	330	-23.3	0.54	5.3	32.0	2.1	13.8	12.1	19.1
3436	SUMCO	金属製品	532	-41.8	0.52	10.4	13.5	0.9	29.7	13.8	-19.5
7735	SCREENHD	電気機器	998	-31.3	0.52	16.2	38.4	2.7	11.6	12.5	9.0
6723	ルネサスエレクトロニクス	電気機器	3,902	-31.8	0.52	9.2	23.9	1.9	12.9	16.3	18.5
6506	安川電機	電気機器	1,171	-39.1	0.51	12.4	21.2	2.9	21.4	24.3	-1.2
4063	信越化学工業	化学	11,954	-12.7	0.51	31.6	8.2	2.8	18.3	16.5	10.8
4203	住友ベークライト	化学	376	-5.3	0.49	9.9	18.3	1.2	13.2	12.5	10.7
6481	THK	機械	325	-23.0	0.49	16.8	16.6	0.9	13.2	15.3	33.6
6967	新光電気工業	電気機器	740	-13.9	0.48	10.7	11.8	2.8	19.4	18.8	25.6
6963	ローム	電気機器	686	-50.7	0.47	3.3	5.8	0.7	16.1	20.1	99.5
6728	アルバック	電気機器	361	-5.2	0.46	2.8	33.3	1.6	11.1	11.6	27.3
6702	富士通	電気機器	6,404	31.7	0.46	2.8	4.3	3.7	24.0	12.9	6.8
7741	HOYA	精密機器	7,007	0.5	0.46	15.4	10.0	7.2	29.9	24.4	13.3
7751	キャノン	電気機器	6,740	26.0	0.43	29.5	12.2	2.0	19.7	15.6	7.3
6383	ダイフク	機械	1,052	-16.6	0.42	25.5	13.7	2.9	19.1	20.8	25.9
5411	JFEHD	鉄鋼	1,185	-28.9	0.42	10.0	6.4	0.5	5.6	7.6	7.4
6501	日立製作所	電気機器	18,620	83.8	0.42	14.7	11.6	3.3	24.0	10.1	18.0
6971	京セラ	電気機器	2,568	-31.0	0.42	22.1	14.4	0.8	18.6	19.2	16.2
6920	レーザーテック	電気機器	2,013	-56.2	0.42	27.8	5.4	13.3	19.4	22.7	28.2
6361	荏原製作所	機械	1,110	30.3	0.40	9.9	17.0	2.7	16.1	13.0	9.8
6479	ミネベアミツミ	電気機器	1,196	-17.0	0.40	27.2	17.3	1.7	13.6	12.8	15.5
5802	住友電気工業	非鉄金属	1,849	16.1	0.40	14.9	13.6	0.8	10.9	11.1	7.8
6301	小松製作所	機械	3,916	-4.6	0.39	27.3	2.4	1.3	9.6	12.8	7.4
6845	アズビル	電気機器	688	-9.4	0.37	2.4	5.6	3.1	21.9	21.4	10.2
6965	浜松ホトニクス	電気機器	653	-45.4	0.36	26.6	18.4	2.1	23.3	28.9	10.1
4021	日産化学	化学	730	-17.5	0.36	8.1	15.8	3.2	16.9	21.2	9.5
6504	富士電機	電気機器	1,214	20.3	0.36	1.6	8.5	2.0	14.1	13.0	11.2
6707	サンケン電気	電気機器	158	-32.8	0.35	10.0	29.5	1.3	32.0	15.9	227.2
6753	シャープ	電気機器	636	-16.3	0.35	5.9	34.1	4.5	18.1	18.7	373.3
6856	堀場製作所	電気機器	396	-28.5	0.34	6.4	22.1	1.4	9.7	13.6	11.4
6902	デンソー	輸送用機器	6,576	-15.5	0.34	21.4	15.8	1.2	11.5	13.8	12.0
4401	ADEKA	化学	291	-15.9	0.34	9.2	9.4	1.0	10.4	11.2	10.5
4061	デンカ	化学	192	-26.6	0.34	6.5	12.7	0.6	11.8	11.1	92.0
6367	ダイキン工業	機械	5,500	-32.0	0.33	33.5	11.5	2.1	18.6	21.4	8.5
7912	大日本印刷	その他製品	1,448	11.5	0.33	4.5	13.9	1.2	16.5	17.9	5.5
6134	FUJI	機械	221	-20.5	0.32	13.4	28.6	1.0	12.6	12.3	32.7
4202	ダイセル	化学	368	-16.4	0.32	8.4	19.2	1.0	6.2	10.3	9.3
6724	セイコーエプソン	電気機器	1,082	19.6	0.32	21.9	12.5	1.3	15.5	11.9	20.4
7272	ヤマハ発動機	輸送用機器	1,387	-6.3	0.32	24.3	2.4	1.2	7.4	8.5	6.1

注:TOPIX500採用銘柄をユニバースとし、2000年1月以降のSOX指数、各銘柄の月次リターンをもとに相関係数を計算。200ヵ月以上データのある銘柄のみ抽出し、相関係数が0.3以上、かつ直近の有価証券報告書に半導体関連の事業に関する記載がある銘柄をリスト化。米国中国売上高比率はFactSetの独自のアルゴリズムに基づく数値。

データは10月18日時点。SOX指数との相関係数の降順

出所:QUICK、ブルームバーグ、FactSet、SMBC日興証券

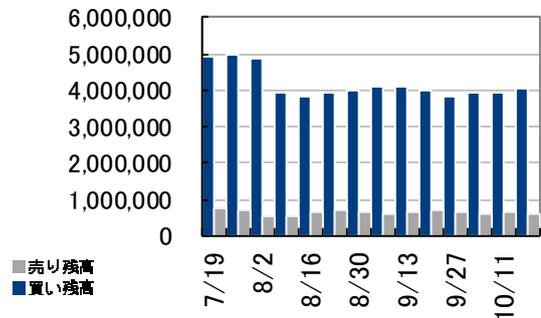
買い残が3週連続で増加

10月18日時点の2市場信用残高は、買い残高が1024億円増の4兆650億円、売り残高が85億円減の6177億円。買い残高が3週連続の増加、売り残高は2週間ぶりの減少となった。また、買い方の評価損益率は-9.02%から-9.05%、売り方の評価損益率は-2.30%から-0.56%に。なお、信用倍率は6.33倍から6.58倍。

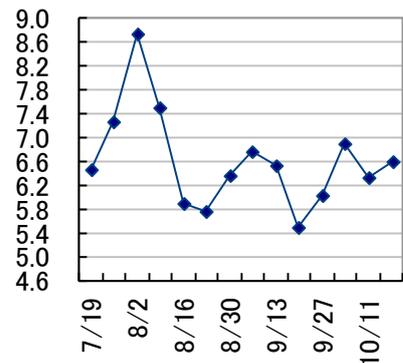
この週(10月15日-18日)の日経平均は前週末終値比624.05円安の38981.75円。強い米国株の流れを受けて、連休明けの日経平均は7月19日以来となる40000円台を一時回復した。衆議院議員総選挙の公示日を迎え、東京市場も政策期待が先行するかと思われたが、自民党の苦戦が相次いで報じられたことも影響し、週を通して売買代金は低迷、盛り上がりには欠ける展開となった。また、オランダの半導体製造装置大手ASMLホールディングスが2025年通期の業績予想を下方修正したことを受け、半導体株が総じて下落。日経平均の押し下げ役となった。

個別では、ジェイテクト<6473>の信用倍率は0.62倍となり、前週の3.05倍から売り長の需給状況になった。同社は10月16日、米国の子会社が第三者による不正アクセスを受け、顧客情報が外部に流出した可能性があるとして発表した。この発表を受けて翌17日には出来高を伴って下落しており、新規売りが積み上がったとみられる。ただし、その後株価は落ち着いて推移しているため、今後は買い戻しのタイミングを探る流れが意識されてきそうである。マツキョココカラ<3088>の信用倍率は0.58倍となり、前週の2.28倍から売り長の需給状況になった。10月に入って調整を継続するなか、9月半ばの直近安値水準を割り込んできたことで新規売りが積み上がったようだ。また、Sansan<4443>は、第1四半期の営業赤字が嫌気されていたが、国内証券の格上げ観測から18日に急伸しており、この局面で戻り待ち狙いの新規売りが積み上がった形だろう。

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	10/25終値 (円)	信用買残 (10/18:株)	信用売残 (10/18:株)	信用倍率 (10/18:倍)	信用買残 (10/11:株)	信用売残 (10/11:株)	信用倍率 (10/11:倍)
6473	プライム	ジェイテクト	1,003.5	1,298,200	2,097,800	0.62	1,228,500	403,100	3.05
3088	プライム	マツキョココカラ	2,039.0	374,000	640,100	0.58	218,800	96,100	2.28
4732	プライム	ユー・エス・エス	1,247.0	345,800	5,749,100	0.06	499,100	2,187,000	0.23
4443	プライム	Sansan	2,105.0	269,100	485,800	0.55	460,700	331,700	1.39
3038	プライム	神戸物産	3,829.0	608,800	8,545,600	0.07	526,900	4,456,400	0.12
6146	プライム	ディスコ	37,700.0	1,776,200	269,000	6.60	1,857,000	166,700	11.14
9101	プライム	郵船	4,945.0	4,060,700	969,200	4.19	5,383,900	826,200	6.52
6590	プライム	芝浦メカ	10,050.0	112,800	162,100	0.70	132,700	124,900	1.06
8308	プライム	りそなHD	999.6	2,935,100	1,099,900	2.67	3,216,200	806,800	3.99
5401	プライム	日本製鉄	2,986.5	8,518,200	700,000	12.17	8,066,900	445,200	18.12
9279	プライム	ギフトHD	3,110.0	90,500	610,900	0.15	106,600	478,200	0.22
8306	プライム	三菱UFJ	1,548.5	54,485,900	4,608,200	11.82	57,311,400	3,336,400	17.18
9824	プライム	泉州電	4,650.0	72,800	536,500	0.14	59,800	296,400	0.20
7011	プライム	三菱重	2,097.5	19,594,600	5,666,200	3.46	23,882,400	4,986,700	4.79
4578	プライム	大塚HD	9,036.0	95,200	125,700	0.76	109,200	105,500	1.04

コラム：総選挙後の円相場

ドル・円相場の上昇基調が鮮明です。「米トランプ政権」をにらんだドル買いが背景にあります。ただ、総選挙で自民・公明が過半数の勝敗ラインをクリアできれば石破首相は独自色を強めるとみられ、長期的には金融政策にらみの円買いを予想します。

ドル・円は7月3日に付けた161円95銭から9月16日に139円57銭まで下落後、150円付近に持ち直しています。半値戻しの150円76銭を上抜けると、「トランプ相場」の再開で7月末以来の153円台に一時浮上しました。今後の円相場は10月27日投開票の総選挙の結果に左右されそうです。目下、石破政権は輸入物価上昇の要因となる円安を抑制しようと、円安けん制姿勢を強めています。

自民党の政権公約をみると、経済政策に関し「資産運用立国の実現に向けた取り組みを着実に推進」（引用）との文言が盛り込まれました。石破氏が総裁選で主張した金融所得課税の見直しや一部の法人増税、所得増税については言及しておらず、変節により党内主流派だったころの主張を引っ込めたと指摘されています。一方で、石破氏は小選挙区と比例の重複の立候補や小選挙区の公認を見送る措置を取りました。

大手メディアによる選挙戦終盤の情勢調査では、自民・公明は衆院定数465の過半数233議席に到達できないとの結果が目立ちます。投票結果は予測できないものの、自民党は選挙に先立ち踏み込んだ調査を実施しています。石破政権発足時の支持率は決して高くはありませんが、調査結果に基づいた勝算を見込んでおり、最終的に勝敗ラインを上回る可能性もあります。

自民党は総裁選を通じて主流派と非主流派が入れ替わったように見えますが、重鎮議員の力が衰えたわけではない、との声も聞かれます。そうした党内情勢への配慮が今回のマニフェストと言えます。与党過半数の目標を達成できれば、総裁選で主張していた政策を徐々に繰り出していくと予想されます。日銀の金融正常化論議もその過程で動き出す、との見方なら総選挙後の円売りは限定的でしょう。

もっとも、総選挙後の日銀金融政策決定会合は現行政策を据え置く見通し。日銀の追加利上げは年明け以降とみられ、10月末の政策決定は円売りの手がかかりとなりそうです。目先の米大統領選やイラン・イスラエルの緊張で、円急伸の可能性はあります。ただ、日本発の材料に限定すれば、与党が衆院で多数派維持なら短期円安・長期円高、多数派を維持できなければ短期円高・長期円安とみまます。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-4
		決算カレンダー	5-10
2	レーティング	格上げ・買い推奨	11
		格下げ・売り推奨	12
3	投資主体別売買動向	総括コメント	13
		市場別データ	14
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	15
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄 (プライム)	16
		雲下抜け銘柄 (プライム)	17-18

10月28日～11月3日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
10月28日	月	10:10	国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年、残存10-25年、物価連動債)(日本銀行)
		20:00	ブ・FGV建設コスト(10月)
		20:25	ブ・週次景気動向調査
			Hmcommが東証グロースに新規上場(公開価格:850円)
			決算発表 ヒューリック、塩野義薬、TOTO、日東電工
		決算発表 フォード	
10月29日	火	08:30	有効求人倍率(9月)
		08:30	失業率(9月)
		20:30	ブ・経常収支(9月)
		20:30	ブ・海外直接投資(9月)
		21:00	南ア・貿易収支(9月)
		21:30	米・卸売在庫(9月)
		22:00	米・FHFA住宅価格指数(8月)
		22:00	米・S&P/コアロジックCS20都市住宅価格指数(8月)
		23:00	米・JOLT求人数(9月)
		23:00	米・消費者信頼感指数(10月)
		27:00	ブ・貿易収支(先週)
			月例経済報告(10月)
			東北電力が女川原発(宮城県)の再稼働を予定
			Sapeetが東証グロースに新規上場(公開価格:1500円)
			決算発表 大東建、キーエンス、日本取引所、オービック、NEC、大和証G
	決算発表 カブコン、コマツ、シマノ、中部電力、SCSK、東海旅客鉄道		
	決算発表 ファイザー、マクドナルド、ベイバル、ビザ、アルファベット、BP		
	決算発表 アドバンスト・マイクロ・デバイス、HSBCホールディングス、ノバルティス		
10月30日	水	09:30	豪・消費者物価指数(9月)
		14:00	消費者態度指数(10月)
		17:55	独・失業率(失業保険申請率)(10月)
		18:00	独・GDP速報値(7-9月)
		19:00	欧・ユーロ圏GDP速報値(7-9月)
		19:00	欧・ユーロ圏景況感指数(10月)
		19:00	欧・ユーロ圏消費者信頼感指数(10月)
		19:30	印・財政赤字(9月)
		20:00	ブ・FGVインフレIGPM(10月)
		20:30	印・インフラ産業8業種(9月)
		20:30	ブ・融資残高(9月)
		20:30	ブ・個人ローン・デフォルト率(9月)
		20:30	ブ・ローン残高(9月)
		21:15	米・ADP全米雇用報告(10月)
		21:30	米・GDP速報値(7-9月)
		22:00	独・消費者物価指数(10月)
		23:00	米・中古住宅販売成約指数(9月)
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(1日目)
			決算発表 東ガス、エムスリー、アステラ薬、京セラ、NRI、日立、マキタ
			決算発表 アドテスト、オランダ、信金中央金庫、関西電、東電HD
			決算発表 イーライリリー、メタ・プラットフォームズ、ブルデンシャル、メットライフ、コインベース・グローバル、UBSグループ
	決算発表 アフラック、マイクロソフト、スターバックス、エアバス、フォルクスワーゲン、スタンダードチャータード、BYD		

10月28日~11月3日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容		
10月31日	木	08:50	鉱工業生産指数(9月)		
		08:50	小売売上高(9月)		
		08:50	百貨店・スーパー売上高(9月)		
		08:50	対外・対内証券投資(先週)		
		09:30	豪・小売売上高(9月)		
		10:00	中・SWIFTグローバル支払い元建て(9月)		
		10:30	中・製造業PMI(10月)		
		10:30	中・非製造業PMI(10月)		
		10:30	中・総合PMI(10月)		
		14:00	住宅着工件数(9月)		
		15:30	植田日銀総裁が会見		
		19:00	欧・ユーロ圏消費者物価コア指数(10月)		
		19:00	欧・ユーロ圏失業率(9月)		
		20:30	ブ・基礎的財政収支(9月)		
		20:30	ブ・純債務対GDP比(9月)		
		21:00	ブ・全国失業率(9月)		
		21:30	米・新規失業保険申請件数(先週)		
		21:30	米・雇用コスト指数(7-9月)		
		21:30	米・個人所得(9月)		
		21:30	米・個人消費支出(9月)		
		21:30	米・個人消費支出(PCE)価格コア指数(9月)		
		22:45	米・MNIシカゴ購買部協会景気指数(10月)		
					日銀政策委員会・金融政策決定会合(2日目)、終了後決定内容発表
					決算発表 ルネサス、三和HD、豊田織、デンソー、小野薬、商船三井、第一三共、住友商、大塚HD、アイシン、HOYA、Monot
					決算発表 協和キリン、武田薬、住友林業、JT、積水化学工業、JR東日本、コナミG、三菱電、阪急阪神H、ANA、TIS、ZOZO
					決算発表 日本酸素H、日本特殊陶業、富士電機、富士通、スクリンH、九州電、大塚商会、パナソニック、大ガス、豊田通商
					欧・欧州中央銀行(ECB)経済報告
					欧・フォンデアライエン欧州委員会委員長が任期満了
					ブ・G20財務・保健相合同会議
					決算発表 コムキャスト、ウーバー、マスターカード、プリストル マイヤーズ スクイブ、アップル
					決算発表 アマゾン、インテル、シェル、BNPパリバ、INGグループ、サムスン電子
11月1日	金	09:30	製造業PMI(10月)		
		10:45	中・財新製造業PMI(10月)		
		16:30	スイス・消費者物価指数(10月)		
		20:00	ブ・FGV消費者物価指数(IPC-SX)(先週)		
		20:30	印・外貨準備高(先週)		
		21:00	ブ・鉱工業生産(9月)		
		21:30	米・非農業部門雇用者数(10月)		
		21:30	米・失業率(10月)		
		21:30	米・平均時給(10月)		
		22:00	ブ・製造業PMI(10月)		
		22:45	米・製造業PMI(10月)		
		23:00	米・ISM製造業景況指数(10月)		
		23:00	米・建設支出(9月)		
					決算発表 丸紅、三菱商事、旭化成、三菱ケミカル、スバル、TDK、三井物産、エプソン
					決算発表 村田製、住友電工、野村HD、JAL、JR西日本、サンリオ、KDDI、AGC
					米・自動車販売(10月、2日まで)
			決算発表 シェブロン、エクソンモービル		
11月3日	日		米・夏時間終了		

■(欧)7-9 月期域内総生産速報値**10月30日(水)午後7時発表予定**

(予想は前年比+0.8%) 参考となる7-9月のユーロ圏総合PMIは50.2から49.6に悪化し、四半期ベースではユーロ圏経済の停滞を示唆している。このため、経済成長率は前年比でも1%未満にとどまる見込み。

■(米)7-9 月期国内総生産速報値**10月30日(水)午後9時30分発表予定**

(予想は前期比年率+3.0%) 参考となるアトランタ地区連銀の経済予測モデル「GDPNow」の試算によると前期比年率+3.4%程度と想定されており、成長率は4-6月期と同程度となる可能性がある。

■(日)日本銀行金融政策決定会合**10月31日(木)決定会合の終了予定時刻は未定**

(予想は政策金利の据え置き) 日本銀行の植田総裁は10月23日にワシントンでパネルに出席し、「持続可能な形でインフレが2%に到達するにはまだ時間がかかる」と述べた。日銀はこの目的を達成するために緩和的な金融政策を当面維持していくとみられる。

■(米)10月雇用統計**11月1日(金)午後9時30分発表予定**

(予想は、非農業部門雇用者数は前月比+12.0万人、失業率は4.1%) 9月は雇用者増加数が市場予想を大幅に上回ったが、10月はハリケーン被害の影響を受けるため、非農業部門雇用者数は9月実績を下回る見込み。ただ、失業率は9月実績と同水準となる可能性がある。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月28日	3333	美樹工業	スタンダード	15:00	10月30日	4367	広栄化学	スタンダード	13:00
	7649	三晃金	スタンダード	14:00		4479	マクアケ	グロース	15:00
	2796	不二家	プライム	15:00		4498	サイトラスト	グロース	15:00
	3160	コア	プライム	15:00		4684	オービック	プライム	15:00
	4465	Vコーズ	プライム	17:00		4733	OBC	プライム	14:00
	4716	キーコヒー	プライム	14:00		4832	JFE-SI	スタンダード	14:00
	7624	ヒューリック	プライム	11:00		4956	コニシ	プライム	11:00
	9976	マクニカHD	プライム	15:00		5344	MARUWA	プライム	10:40
	2792	綿半HD	プライム	15:00		5352	黒崎播磨	プライム	
	5994	ユニーテック	プライム	16:00		5532	リアルゲイト	グロース	15:00
	2742	システムリサーチ	プライム	15:00		5612	鑄鉄管	スタンダード	15:00
	2778	さくら	プライム	15:00		5659	日精線	プライム	15:00
	3050	田中化研	スタンダード	16:00		5834	SBIリーディング	グロース	15:00
	6664	ゼオン	プライム	15:00		5911	横河HD	プライム	15:00
	8155	塩野義	プライム	13:00		6023	ダイワテック	スタンダード	13:00
	9369	日興業	スタンダード	16:00		6161	エステック	スタンダード	15:00
	5332	TOTO	プライム	15:20		6301	コマツ	プライム	15:00
	6230	SANEI	スタンダード	15:00		6337	テセック	スタンダード	15:00
	6484	KVK	スタンダード	15:00		6436	アマノ	プライム	15:00
	6508	明電舎	プライム	15:00		6653	正興電機	プライム	15:00
	6617	東光高岳	プライム	16:00		6701	NEC	プライム	15:00
	6923	スバル電	プライム	15:00		6798	SMK	プライム	13:00
	6988	日東電	プライム	16:00		6861	キーエンス	プライム	16:00
	7102	日車輛	プライム	15:40		6946	日アビオ	スタンダード	18:00
	7250	太平洋	プライム	15:40		7191	イトラスト	スタンダード	15:00
	7299	オーセックス	スタンダード	15:00		7205	日野自	プライム	15:00
	7366	LITALICO	プライム	15:00		7276	小糸製	プライム	15:00
	7477	ムラキ	スタンダード	16:00		7278	イクセィ	プライム	16:00
	7984	コクヨ	プライム			7309	シマノ	プライム	15:00
	8190	ヤマハ	名証メイン	13:00		7570	橋本総HD	スタンダード	
	8283	PALTAG	プライム	15:00		7908	KIMOTO	スタンダード	17:00
	8698	マネックスG	プライム	15:00		7950	日テック	名証プレミア	15:20
	9058	トヨタ	プライム	15:00		8014	蝶理	プライム	14:00
9158	シーユーシー	グロース	15:00	8081	カナデン	プライム	15:00		
9267	ケンキドラ	プライム	15:00	8174	日ガス	プライム	15:00		
9629	ピーシーイー	プライム	15:00	8601	大和証G	プライム	15:00		
9663	ナガワ	プライム		8628	松井証	プライム	11:00		
9701	東会館	スタンダード		8697	JPX	プライム	12:00		
10月29日	1775	FFE&C	スタンダード	15:00	8699	HSHD	スタンダード	16:00	
	1850	南海辰村	スタンダード	15:00	8914	エリアルック	スタンダード	15:00	
	1878	大東建	プライム	11:00	9022	JR東海	プライム	15:00	
	1930	北電事	プライム	15:00	9037	ハマキョウ	プライム	15:00	
	1946	トーエネック	プライム	15:40	9219	ギックス	グロース	15:00	
	1973	NESIC	プライム	11:00	9474	ゼンリン	プライム	13:00	
	2175	SMS	プライム	15:00	9502	中部電	プライム	16:00	
	2212	山崎パン	プライム	15:00	9507	四国電	プライム	15:00	
	2216	カンロ	スタンダード	13:00	9552	M&A総研H	プライム	15:00	
	2220	亀田菓	プライム	13:00	9682	DTS	プライム	15:00	
	2327	NSSOL	プライム	15:00	9697	カゴン	プライム	15:00	
	2393	日本ケア	スタンダード	15:00	9719	SCSK	プライム	15:00	
	2715	エレテック	プライム		9932	杉本商	プライム		
	3275	ハウスコム	スタンダード	11:00	9991	ジェコス	プライム	16:00	
	3793	ドリコム	グロース	15:00	1514	住石HD	スタンダード	15:00	
	3911	Aiming	グロース	15:00	1869	名工建	名証メイン	16:00	
	4043	トクヤマ	プライム	09:00	1959	丸電工	プライム	15:00	
	4107	伊勢化	スタンダード	15:00	2002	日清粉G	プライム	15:30	
	4113	田岡化	スタンダード	15:00	2127	日本M&AセンターHD	プライム		
	4212	積水樹	プライム	15:00	2208	ブルボン	スタンダード		
	4290	PI	プライム	16:00	2413	エムスリー	プライム	15:00	
	4366	ダイトー	スタンダード	16:00	2540	養命酒	プライム	15:00	

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月30日	2737	トーメン	プライム	13:00	10月31日	6995	東海理化	プライム	14:40
	2768	双日	プライム	12:00		7185	ヒロセ通商	スタンダード	
	2811	カゴメ	プライム	15:00		7211	三菱自	プライム	17:00
	3079	DVx	スタンダード	15:00		7241	フタバ	プライム	16:20
	3371	ソトケイHD	プライム	15:00		7283	愛三工	プライム	15:20
	3426	アトム	スタンダード	15:00		7297	カーメイト	スタンダード	16:00
	3529	アツギ	スタンダード	14:00		7381	北國FHD	プライム	13:00
	3553	共和レザ	スタンダード	15:00		7504	高速	プライム	
	3580	小松マテレ	プライム	15:00		7508	GセブンHD	プライム	15:00
	3636	三菱総研	プライム	16:00		7559	GFC	スタンダード	15:00
	3648	AGS	スタンダード	16:00		7600	日本MDM	プライム	15:00
	3839	ODK	スタンダード	15:00		7732	トプコン	プライム	
	3850	NTTDIM	スタンダード	15:00		7817	ハラパッド	プライム	15:00
	4005	住友化	プライム	13:00		7823	アトネイチャー	スタンダード	15:00
	4099	四国化HD	プライム	12:00		7919	野崎印	スタンダード	15:00
	4206	アイカエ	プライム	15:20		8071	東海エレ	名証メイン	15:00
	4307	NRi	プライム	15:00		8137	サンテクス	プライム	16:00
	4308	Jストリーム	グロース	15:00		8609	岡三	プライム	11:00
	4347	プロメテイ	スタンダード	15:00		8613	丸三証	プライム	12:00
	4362	日精化	プライム	16:00		8614	東洋証	プライム	16:00
	4373	シンプレクスH	プライム	15:00		8622	水戸証	プライム	13:00
	4417	グローセキユ	グロース	16:00		8624	いちよし	プライム	13:00
	4461	一工薬	プライム	14:00		8706	極東証券	プライム	
	4503	アステラス薬	プライム	15:00		8708	アイワリ証G	プライム	14:00
	4506	住友ファーマ	プライム	13:00		8793	NECキャピ	プライム	15:00
	4552	JCRファーマ	プライム	16:00		8818	京阪神ピ	プライム	16:00
	4661	OLC	プライム	16:00		9044	南海電	プライム	14:00
	4751	サイバエージ	プライム	15:00		9046	神電鉄	プライム	15:00
	4816	東映アニメ	スタンダード	15:00		9055	アルプス物	プライム	15:00
	4826	CIJ	プライム	14:00		9081	神奈交	プライム	15:00
	5214	日電硝	プライム	15:00		9377	エージーピー	スタンダード	16:00
	5449	大阪製鉄	スタンダード	13:00		9380	東海運	スタンダード	14:00
	5461	中部鋼	プライム	15:00		9384	内外トランス	プライム	12:00
	5471	大特鋼	プライム	10:40		9501	東電力HD	プライム	17:00
	5484	東北鋼	スタンダード	16:00		9503	関西電	プライム	16:00
	5603	虹技	スタンダード	15:00		9505	北陸電	プライム	15:00
	5819	カレ電気	スタンダード	16:00		9531	東ガス	プライム	
	5857	AREHD	プライム	15:00		9533	邦ガス	プライム	11:40
	5909	コロナ	スタンダード	15:00		9539	葉ガス	スタンダード	15:00
	5936	洋シヤタ	スタンダード	15:00		9551	メタウォーター	プライム	15:00
	5938	LIXIL	プライム	15:00		9640	セゾンテクノ	スタンダード	15:00
	5992	中発条	スタンダード	14:20		9702	アイエスピー	プライム	15:00
	6111	旭精機	名証メイン	16:20		9708	帝国ホテル	スタンダード	15:00
	6196	ストライク	プライム	15:00		9828	GenkiGDC	スタンダード	
	6210	東洋機械	スタンダード	15:00		9830	Tナカヤマ	プライム	13:00
	6419	マースGHD	プライム	16:00		1777	川崎設備	名証メイン	13:00
	6470	大豊工業	スタンダード	14:00		1798	守谷商会	スタンダード	15:00
6501	日立	プライム	15:00	1911	住友林	プライム	15:00		
6586	マキタ	プライム	15:40	1934	ユアテック	プライム	15:00		
6727	ワコム	プライム		1939	四電工	プライム	16:00		
6754	アンリツ	プライム	15:00	1941	中電工	プライム	16:00		
6770	アルプスアル	プライム	15:00	1942	関電工	プライム	13:00		
6822	大井電気	スタンダード	15:00	1944	きんでん	プライム	15:00		
6823	リオン	プライム	15:00	1948	弘電社	スタンダード	16:00		
6857	アドバンテ	プライム	15:00	1949	住電設	スタンダード	13:00		
6864	エヌエフHD	スタンダード		1950	日本電設	プライム	16:00		
6912	菊水HD	スタンダード	16:00	1964	中外炉	プライム	14:00		
6955	FDK	スタンダード	15:00	1976	明星工	プライム	15:00		
6971	京セラ	プライム	15:00	2003	日東富士	スタンダード	17:00		
6973	協栄産	スタンダード	15:00	2053	中部鋼	プライム	14:00		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月31日	2109	DM三井糖	プライム	15:00	4368	扶桑化学	プライム	16:00	
	2114	フジ日本	スタンダード	15:00	4410	ハル化成G	プライム	13:00	
	2130	ムンバース	プライム	15:00	4462	石原ケミカル	プライム		
	2148	ITM	プライム	17:00	4463	日華化学	スタンダード	15:00	
	2152	幼児活動	スタンダード	16:00	4502	武田	プライム	15:00	
	2317	システナ	プライム	16:00	4528	小野薬	プライム	12:00	
	2326	デシアーツ	プライム	16:00	4531	有機薬	スタンダード	15:00	
	2477	手間行ス	スタンダード	15:00	4539	日ケミフ	スタンダード	15:00	
	2479	シエイテック	グロース	15:00	4549	栄研化	プライム	15:00	
	2489	アドウェイス	プライム	15:00	4551	鳥居薬	プライム	15:00	
	2492	インフォマート	プライム	15:00	4568	第一三共	プライム	13:00	
	2689	オルパヘルケア	スタンダード	15:00	4578	大塚HD	プライム	13:00	
	2692	伊藤忠食	プライム	13:00	4582	シババ	グロース		
	2782	セリア	スタンダード	15:00	4617	中国塗	プライム	15:00	
	2883	大冷	スタンダード	14:00	4644	イマジニア	スタンダード		
	2892	日食品	スタンダード	14:00	4658	日本空調	プライム	15:40	
	2908	フジッコ	プライム	15:00	4659	エイジス	スタンダード	15:00	
	2914	J T	プライム	15:00	4679	田谷	スタンダード	10:00	
	3004	神栄	スタンダード	12:00	4685	菱友システム	スタンダード	17:00	
	3064	MonotaRO	プライム	15:00	4709	IDHD	プライム	11:00	
	3092	ZOZO	プライム		4718	早稲アカ	プライム	15:00	
	3104	富士紡HD	プライム	11:00	4761	サクラKCS	スタンダード	15:00	
	3116	トヨタ紡織	プライム	14:00	4762	エクスネット	スタンダード	16:00	
	3137	ファンテリー	グロース	15:00	4768	大塚商会	プライム		
	3153	八洲電機	プライム	15:00	4771	エアアトエム	スタンダード	16:00	
	3190	ホットマン	スタンダード	11:00	4812	電通総研	プライム	15:00	
	3294	イーグラント	スタンダード	15:00	4839	WOWOW	プライム	13:00	
	3341	日本調剤	プライム	16:00	4957	ヤスハラケミカル	スタンダード	16:00	
	3352	ハッファロー	スタンダード	15:00	5187	クエート	スタンダード	15:00	
	3388	明治電機	プライム	15:00	5191	住友理工	プライム	12:00	
	3433	トーカロ	プライム	15:00	5257	ハシシステム	スタンダード	15:00	
	3439	ミツ知	スタンダード	15:00	5280	ヨシコ	スタンダード		
	3512	日フエルト	スタンダード	14:00	5333	ガイシ	プライム	15:40	
	3513	イチカワ	スタンダード	15:00	5334	特殊陶	プライム	15:00	
	3542	VEGA	グロース		5388	ケミエ工	スタンダード	15:00	
	3622	ネットイヤー	グロース	15:00	5440	共英製鋼	プライム	13:00	
	3626	TIS	プライム	15:00	5444	大和工	プライム	13:00	
	3640	電算	スタンダード	15:00	5445	東京鉄	プライム	13:00	
	3762	テクトリックス	プライム	15:00	5458	高砂鉄	スタンダード	14:00	
	3776	プロバンダ	スタンダード	15:00	5464	モリ工業	スタンダード	13:00	
	3799	キューエア	スタンダード	16:00	5480	冶金工	プライム	15:00	
	3835	eBASE	プライム	16:00	5481	山特鋼	プライム	13:00	
	3836	アハントG	プライム	15:00	5482	愛知鋼	プライム	14:40	
	3891	高度紙	スタンダード	15:00	5491	日金属	スタンダード	13:00	
3946	トーモク	プライム	15:00	5703	日軽金HD	プライム	14:00		
4045	東亜合成	プライム	14:00	5820	三ツ星	スタンダード	16:00		
4062	化ビデン	プライム	15:20	5929	三和HD	プライム	11:00		
4091	日本酸素	プライム	15:00	5951	ダイ子工	スタンダード	16:00		
4151	協和キリン	プライム	15:00	5955	ワイスHD	スタンダード	15:00		
4204	積水化	プライム	15:00	6028	テックプロHD	プライム	15:00		
4216	旭有機材	プライム	16:00	6042	ニッキ	スタンダード	15:00		
4220	リケンケミカル	プライム	15:00	6080	M&Aキャピ	プライム	15:00		
4228	積化成	プライム	15:00	6103	オークマ	プライム	15:20		
4229	群栄化	プライム	15:00	6135	牧野フ	プライム	15:00		
4248	竹本容器	スタンダード	15:00	6155	高松機械	スタンダード	15:00		
4262	ニフテック	グロース		6157	日進工具	プライム	15:00		
4299	ハイマックス	スタンダード	15:00	6185	SMN	スタンダード	15:00		
4318	クイック	プライム	15:00	6201	豊田織機	プライム	11:40		
4333	東邦システム	プライム	13:00	6222	島精機	プライム	15:00		
4345	シーティーエス	プライム	15:00	6262	PEGASUS	プライム	15:00		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月31日	6268	ナブテコ	プライム	16:00		7537	丸 文	プライム	16:00
	6292	カワタ	スタンダード	12:00		7575	日本ライル	プライム	
	6302	住友重	プライム	15:00		7596	魚 力	プライム	15:00
	6325	タカキタ	スタンダード	14:40		7625	ダイコウ	スタンダード	15:00
	6331	化工機	プライム	16:00		7687	ミクド	グロース	16:00
	6349	小 森	プライム	15:00		7735	スクリン	プライム	15:00
	6356	日ギア	スタンダード	13:00		7741	HOYA	プライム	13:00
	6371	椿本チ	プライム	15:00		7774	J-TEC	グロース	15:00
	6382	トリエ	スタンダード	15:00		7775	大研医器	スタンダード	16:00
	6391	加地テック	スタンダード			7795	KYORITSU	スタンダード	15:00
	6454	マックス	プライム	15:00		7844	マーベラス	プライム	
	6455	モリタHD	プライム	15:00		7893	プロネクサス	プライム	15:00
	6471	日精工	プライム	15:00		7896	セブンエ	スタンダード	13:20
	6472	NTN	プライム			7897	ホクシン	スタンダード	16:00
	6473	ジェイテ	プライム	15:00		7925	前澤化	プライム	15:00
	6488	ヨシタ	スタンダード	15:00		7940	ウェーブ	スタンダード	
	6503	三菱電	プライム	15:00		7942	JSP	プライム	15:00
	6504	富士電機	プライム	15:00		7947	エビコ	プライム	15:00
	6516	山洋電	プライム	11:00		7949	小松ウオル	プライム	15:00
	6518	三相電機	スタンダード	15:00		7976	菱鉛筆	プライム	15:00
	6526	ソシオネクスト	プライム	15:00		7988	ニフコ	プライム	13:00
	6557	AIAI	グロース	15:00		8005	スクロール	プライム	15:00
	6565	ABホテル	スタンダード	16:00		8015	豊通商	プライム	16:00
	6623	愛知電	PM	14:40		8030	中央魚	スタンダード	16:00
	6632	JVCKW	プライム	15:00		8046	丸藤パ	スタンダード	13:00
	6659	メディアリンク	スタンダード	15:00		8052	椿本興	プライム	16:00
	6702	富士通	プライム	15:00		8053	住友商	プライム	13:00
	6723	ルネサス	プライム	09:00		8084	RYODEN	プライム	13:00
	6737	EIZO	プライム			8103	明和産	プライム	15:00
	6752	パナソニックH	プライム	15:00		8119	三栄ホ	スタンダード	15:00
	6797	名古屋電	スタンダード	15:40		8133	エネクス	プライム	13:00
	6810	マクセル	プライム	15:00		8141	新光商	プライム	15:00
	6817	スタチューボ	プライム			8157	都築電	プライム	12:00
	6837	京 写	スタンダード	16:00		8285	三谷産	スタンダード	14:00
	6870	フェオール	スタンダード	15:00		8585	オリコ	プライム	15:00
	6879	IMAGICAG	プライム	15:00		8616	東海東京	プライム	11:30
	6902	デンソー	プライム	11:10		8700	丸八証券	スタンダード	15:00
	6920	レーザーテック	プライム			8704	トレイダーズ	スタンダード	15:00
	6932	遠藤照	スタンダード	16:00		8732	マネバG	スタンダード	
	6960	アガ電	スタンダード			8739	スパークス G	プライム	16:00
	6961	エンプラス	プライム	15:00		8772	アサックス	スタンダード	11:00
	6967	新電工	プライム	15:00		8803	平和不	プライム	
	7022	サハシHD	スタンダード	16:00		8860	アソ住	プライム	15:00
	7046	TDSE	グロース			8864	空港施設	プライム	15:00
	7148	FPG	プライム	16:00		8871	ゴールドル	スタンダード	15:00
	7172	JIA	プライム	15:00		8877	エスリート	プライム	13:00
	7177	GMOFHD	スタンダード	15:00		8898	センチュリー21	スタンダード	16:00
	7218	田中精密	スタンダード	14:00		9003	相鉄HD	プライム	14:00
	7224	新明和	プライム	16:00		9009	京 成	プライム	15:00
	7259	アイシン	プライム	13:05		9020	JR東日本	プライム	15:00
	7282	豊田合	プライム	14:20		9039	サカイ引越	プライム	14:00
	7419	ノジマ	プライム			9042	阪急阪神	プライム	15:00
	7433	伯 東	プライム	15:00		9059	カンダ	スタンダード	15:00
	7442	中山福	スタンダード	16:00		9065	山 丸	プライム	13:00
	7464	セフテック	スタンダード	15:00		9104	商船三井	プライム	12:00
	7466	SPK	プライム	15:00		9110	ユナイテッド海	プライム	14:00
	7475	アルビス	プライム	14:00		9115	明海G	スタンダード	13:00
	7476	アズワン	プライム	16:00		9119	飯野海	プライム	14:00
	7483	トウシヤ	プライム	15:00		9202	ANA	プライム	15:00
	7510	たけびし	プライム	15:00		9206	SFJ	スタンダード	15:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
10月31日	9301	三菱倉	プライム	15:00	5287	トヨーキョ	スタンダード	15:00	
	9307	杉村倉	スタンダード	16:00	5380	新 東	スタンダード	15:00	
	9311	アサガミ	スタンダード	15:00	5410	合同鉄	プライム		
	9325	フェイスHD	スタンダード	15:00	5446	北越メタル	スタンダード	16:00	
	9504	中国電	プライム	15:00	5476	高周波	スタンダード	15:00	
	9506	東北電	プライム	15:00	5602	栗本鉄	プライム	13:00	
	9508	九州電	プライム	15:00	5729	日精鋳	スタンダード	13:00	
	9509	北海道電	プライム	15:00	5742	NIC	スタンダード	15:00	
	9511	沖縄電	プライム	15:00	5802	住友電	プライム	15:00	
	9513	Jパワー	プライム	16:00	5821	平河ヒューテ	プライム	15:00	
	9532	大ガス	プライム	16:00	5903	SHINPO	スタンダード	15:00	
	9534	北ガス	プライム		6035	IRJ HD	プライム	16:00	
	9536	西部ガスH	プライム	16:00	6073	アサンテ	プライム	15:00	
	9600	アイネット	プライム	15:00	6141	DMG森精	プライム	15:00	
	9619	伊ネンHD	プライム	15:00	6164	太陽工機	スタンダード	15:00	
	9672	都競馬	プライム	15:00	6322	タクミナ	スタンダード	16:00	
	9679	ホウライ	スタンダード	16:00	6360	東自機	スタンダード	15:00	
	9686	東洋テック	スタンダード	15:00	6368	オルガノ	プライム	15:00	
	9687	KSK	スタンダード	15:00	6413	理想科	プライム	16:00	
	9709	NCS&A	スタンダード	16:00	6467	ニチダイ	スタンダード		
	9715	トランスコスモ	プライム	15:00	6493	NITTAN	スタンダード	16:00	
	9742	アイネス	プライム	16:00	6592	マブチ	プライム	12:00	
	9744	メテックGHD	プライム	11:00	6652	IDEC	プライム	15:00	
	9759	NSD	プライム	15:00	6724	エプソン	プライム	15:00	
	9766	コナミG	プライム	15:00	6762	TDK	プライム	14:00	
	9795	ステップ	プライム	15:00	6806	ヒロ電	プライム	16:00	
	9832	オートハウス	プライム	15:00	6809	TOA	プライム	15:00	
	9882	イーネット	プライム		6832	アイ電子	スタンダード	13:00	
	9889	JBCC HD	プライム	11:00	6888	アクモス	スタンダード	15:00	
	9928	ミッド情報	プライム	15:00	6981	村田製	プライム	15:00	
	9934	因幡電産	プライム	11:00	7162	アストマックス	スタンダード	16:00	
	9936	玉将フード	プライム		7173	きらぼし	プライム	15:00	
	9950	ハチパン	スタンダード	16:00	7270	SUBARU	プライム	13:00	
9969	ショケン	スタンダード	16:00	7271	安 永	スタンダード	15:00		
9997	ペルーナ	プライム	15:00	7296	エフ・シー・シー	プライム	15:00		
11月1日	2229	カルビー	プライム	12:00	7459	メディアバル	プライム	15:00	
	2282	日本ハム	プライム	15:00	7461	キムラ	スタンダード	15:00	
	2296	伊藤米久	プライム	12:00	7480	スズデン	スタンダード		
	2349	エヌアイ	スタンダード	15:00	7509	アイーG	スタンダード	15:00	
	2440	ぐるなび	プライム	15:00	7595	アルゴクラフ	プライム	15:00	
	2480	シスロケ	スタンダード	15:00	7609	ダイト	プライム	15:00	
	2551	マルサンアイ	名証メイン	16:00	7709	クボテック	スタンダード	15:00	
	2730	イーオン	プライム	11:00	7723	愛時計	プライム	15:00	
	2760	東エレバ	プライム	15:00	7729	東京精	プライム	15:00	
	2805	エスピー	スタンダード	15:00	7859	アルメイト	スタンダード	15:00	
	3034	クオールHD	プライム	15:00	7883	サンメッセ	スタンダード	14:00	
	3110	日東紡	プライム	15:00	7951	ヤマハ	プライム	15:00	
	3151	ハイパルKSK	プライム	16:00	7962	キングジム	プライム	16:00	
	3167	TOKAI HD	プライム	15:00	7971	東 リ	スタンダード	14:00	
	3191	ジョイ本田	プライム	15:00	8002	丸 紅	プライム	11:00	
	3407	旭化成	プライム	13:00	8020	兼 松	プライム		
	3841	ジーダット	スタンダード	15:00	8031	三井物	プライム	14:00	
	3941	レンゴー	プライム	13:00	8056	BIPROGY	プライム	15:00	
	4188	三菱ケミ	プライム	13:00	8058	三菱商事	プライム		
	4310	D I	プライム		8076	カノクス	スタンダード	14:40	
	4341	西菱電機	スタンダード	14:00	8136	サンリオ	プライム	15:00	
	4534	持田薬	プライム	14:00	8566	リコーリース	プライム	14:00	
	4565	ネクセラファーマ	プライム	15:00	8604	野村HD	プライム	15:00	
	5186	ニッタ	プライム	15:00	9021	JR西日本	プライム	15:00	
	5201	AGC	プライム		9040	大宝運輸	名証メイン	11:00	

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
11月1日	9130	共栄タ	スタンダード	16:00
	9201	JAL	プライム	15:00
	9324	安田倉庫	プライム	16:00
	9351	東洋埠頭	スタンダード	16:00
	9433	KDDI	プライム	15:00
	9853	ルアール	スタンダード	15:00
	9878	セキド	スタンダード	15:00
	9990	サックスパーH	プライム	15:00

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
10月22日	ゴールドマン	5947	リンナイ	売り→中立格上げ	3600→3700
	東海東京	6744	能美防災	OUTPERFORM新規	3200
10月23日	モルガン	3923	ラクス	OVERWEIGHT新規	3000
	東海東京	2585	ライブリンクC	OUTPERFORM新規	2130
10月24日	東海東京	197A	タウンズ	OUTPERFORM新規	890
10月25日	岡三	8604	野村HD	強気新規	1150
	野村	4151	協和キリン	BUY新規	3500

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

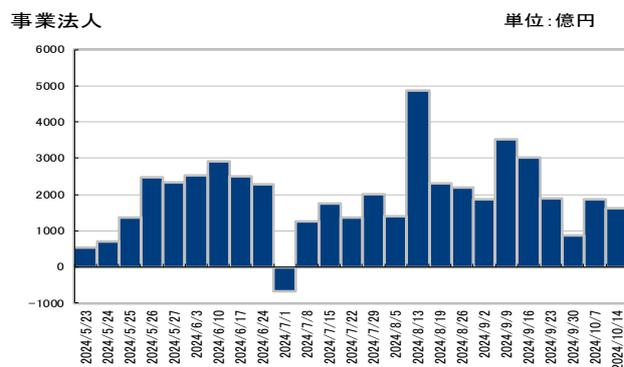
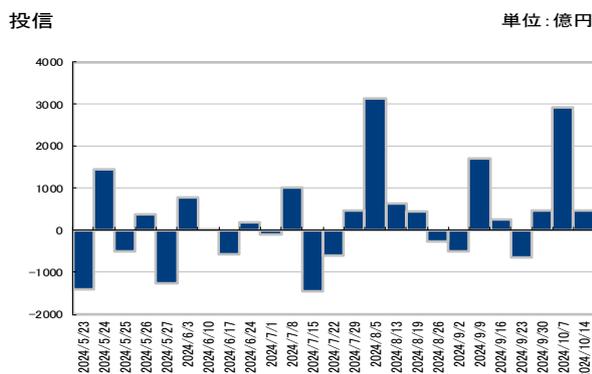
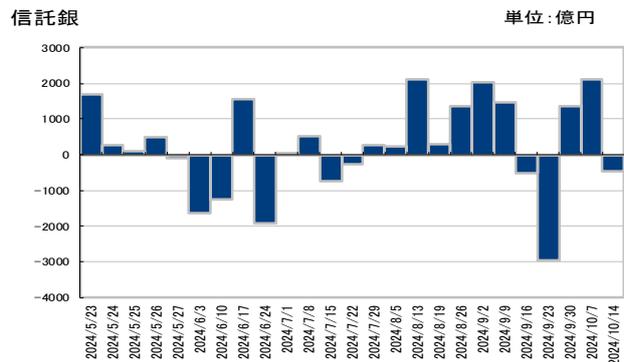
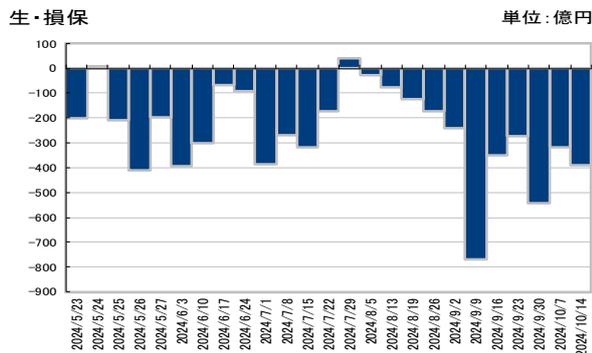
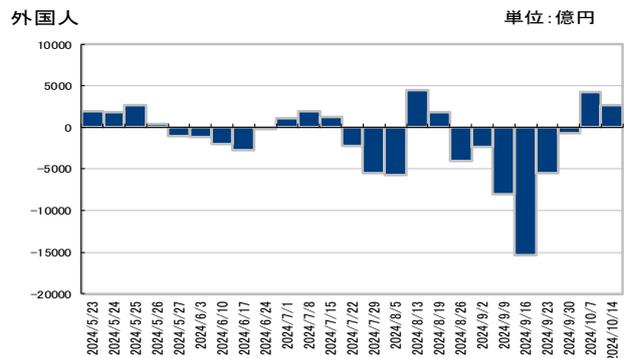
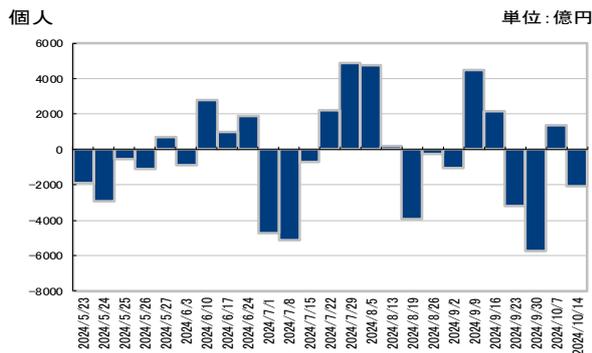
日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
10月22日	ゴールドマン	5332	TOTO	中立→売り格下げ	4700→5000
10月23日	いちよし	2678	アスクル	A→B格下げ	2800→2400
	ゴールドマン	3092	ZOZO	買い→中立格下げ	3600→5200
	モルガン	6407	CKD	OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ	3400→2700
10月24日	東海東京	3593	ホギメディカル	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	4670→4450

10月第3週:外国人投資家は総合で売り越し

10月第3週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で3295億円と売り越し。現物、TOPIX先物、225先物で売り越しに転じた。個人投資家は総合で1025億円と買い越しに転じた。

そのほか、投信は794億円と買い越しを継続し、都地銀は485億円と買い越しに転じた。生・損保は270億円と売り越しを継続し、事法は1376億円と買い越しを継続し、信託は624億円と売り越しを継続した。

なお、自己は現物と225先物で売り越しを継続し、TOPIX先物で買い越しに転じ、総合で242億円と買い越しに転じた。この週の裁定残は前週末比1555.46億円減少(売り越し)とネットベースで1兆7053.91億円の買い越しとなった(買い越し幅減少)。週間の騰落率は日経平均で1.58%の下落だった。



単位:億円

日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
24/07/08	▲30	▲715	1,258	▲1,463	1,748	▲317	▲106	▲744
24/07/15	▲300	2,243	▲2,177	▲601	1,369	▲172	▲43	▲257
24/07/22	▲2,534	4,882	▲5,525	469	2,016	39	8	264
24/07/29	▲4,355	4,796	▲5,670	3,145	1,394	▲27	132	247
24/08/05	▲13,150	204	4,554	641	4,869	▲77	▲251	2,107
24/08/13	▲802	▲3,918	1,849	451	2,307	▲124	▲31	289
24/08/19	1,400	▲291	▲4,089	▲252	2,194	▲173	▲303	1,362
24/08/26	475	▲1,057	▲2,370	▲503	1,864	▲242	▲161	2,024
24/09/02	▲2,525	4,499	▲7,985	1,708	3,509	▲768	170	1,483
24/09/09	8,974	2,152	▲15,337	267	3,026	▲351	▲107	▲510
24/09/16	11,895	▲3,204	▲5,455	▲643	1,889	▲273	▲617	▲2,944
24/09/23	5,084	▲5,760	▲673	471	880	▲542	▲589	1,352
24/09/30	▲12,330	1,371	4,202	2,923	1,873	▲319	102	2,109
24/10/07	▲1,110	▲2,072	2,646	482	1,608	▲391	▲410	▲464
24/10/14	▲1,504	630	▲457	696	1,306	▲228	▲98	▲107

単位:億円

日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
24/07/08	2,437	362	4,916	▲1,521	6	398	85	▲6,586
24/07/15	2,129	78	▲1,327	31	▲15	▲36	▲99	▲759
24/07/22	2,642	281	▲2,135	326	0	54	▲837	▲250
24/07/29	3,108	70	▲2,147	▲90	▲0	▲263	757	▲1,452
24/08/05	7,446	127	▲5,962	▲208	10	▲269	▲566	▲662
24/08/13	395	▲72	▲1,329	273	0	257	453	▲16
24/08/19	▲1,373	33	1,442	158	▲9	▲21	▲102	▲23
24/08/26	▲999	▲34	917	▲166	0	10	81	156
24/09/02	▲139	13	1,327	▲330	▲0	▲30	▲534	▲201
24/09/09	▲3,615	▲71	4,196	339	19	▲75	▲740	▲23
24/09/16	▲3,714	389	▲608	44	▲9	45	600	3,225
24/09/23	▲3,515	▲68	▲7,513	1,542	0	▲61	▲156	9,828
24/09/30	4,612	▲298	▲4,039	1	▲10	▲56	364	▲515
24/10/07	▲538	191	479	▲80	8	▲88	34	▲87
24/10/14	1,938	21	▲2,376	124	2	▲17	374	▲100

単位:億円

日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
24/07/08	▲1,129	843	3,879	▲508	8	229	▲982	▲2,576
24/07/15	1,410	323	▲2,458	292	86	▲15	▲1,258	1,427
24/07/22	601	1,322	▲5,920	357	178	▲79	▲4	3,576
24/07/29	1,974	▲257	▲2,226	▲351	▲41	▲100	800	477
24/08/05	5,329	▲19	▲8,332	479	▲68	▲152	516	2,697
24/08/13	▲1,273	▲508	▲38	182	▲140	77	▲650	2,524
24/08/19	▲518	▲307	2,492	▲87	▲25	▲111	36	▲1,562
24/08/26	681	43	▲791	154	6	0	▲41	168
24/09/02	2,138	566	79	▲495	23	0	▲577	▲1,793
24/09/09	▲2,034	36	488	▲26	79	▲11	▲163	332
24/09/16	845	▲101	▲2,235	227	▲39	0	827	488
24/09/23	▲1,439	▲50	▲1,585	489	▲84	▲149	1,360	1,422
24/09/30	4,598	▲258	▲1,669	▲344	29	178	246	▲2,842
24/10/07	▲493	▲116	1,810	▲148	▲66	▲74	71	▲770
24/10/14	▲192	374	▲462	▲26	68	▲25	209	▲417

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円)	初値 (円)	主幹事	10/25終値 (円)
伸和ホールディングス	7118	札ア	10/21	1,400~1,650	50,000	120,000	1,650	1,530	アイザワ	1,405
事業内容: 飲食事業として「炭火居酒屋炎」、物販事業としてお持ち帰り専門店「美唄焼鳥・惣菜炎」の展開、冷凍加工食品の卸売										
Schoo	264A	グロース	10/22	630~690	1,000,000	5,237,100	690	760	野村	705
事業内容: 個人・法人向けオンライン動画学習サービスの提供										
東京地下鉄	9023	プライム	10/23	1,100~1,200	0	290,500,000	1,200	1,630	野村、みずほ、GS、MUMSS	1,609
事業内容: 1. 旅客鉄道事業の運営 2. 都市・生活創造事業の運営・流通事業(駅構内店舗、商業施設の運営等)・不動産事業(オフィスビルの賃貸等)・情報通信事業(光ファイバーケーブルの賃貸等)										
リガク・ホールディングス	268A	プライム	10/25	1,230~1,260	0	102,497,200	1,260	1,205	野村、MUMSS、モルガン、大和、BofA、JPモルガン	1,130
事業内容: X線技術等を用いた理科学機器の製造・販売										
Hmcomm	265A	グロース	10/28	800~850	198,800	848,600	850	-	SMBC日興	-
事業内容: 音声認識処理、異音検知・自然言語解析処理を用いたプロダクトの提供等										
Sapeet	269A	グロース	10/29	1,450~1,500	140,000	231,400	1,500	-	SMBC日興	-
事業内容: Expert AIを活用したAIプロダクト及びAIソリューションの提供										
ガーデン	274A	スタンダード	11/22	-	1,600,000	0	-	-	東海東京	-
事業内容: M&Aを活用した「荅角家」や「山下本気うどん」などの飲食事業										
ククレブ・アドバイザーズ	276A	グロース	11/28	-	640,000	570,900	-	-	みずほ	-
事業内容: AIを活用したCRE(企業不動産)に関するソリューションの提供及び不動産テックシステムの開発・販売										
グローピング	277A	グロース	11/29-12/5	-	530,000	414,000	-	-	MUMSS、モルガン、大和	-
事業内容: コンサルティングサービスを提供するコンサルティング事業及び各種SaaSを提供するクラウドプロダクト事業										
Terra Drone	278A	グロース	11/29	-	1,155,000	240,900	-	-	SMBC日興	-
事業内容: 測量・点検・農業等におけるドローンを含むハード・ソフトの開発及びサービスの提供、安全かつ効率的なドローンや空飛ぶクルマの運航を管理するためのシステム(UTM)の開発・提供										

雲上抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
2337	いちご	410	408.75	355	2502	アサヒ	1826	1791.25	1820.5
4902	コニカミノルタ	602	501.25	491.5	7581	サイゼリヤ	5430	5412.5	4820
7607	進和	2572	2561	2427	7739	キャノン電子	2394	2320	2180
9278	ブックオフGHD	1476	1457.5	1384.5	9793	ダイセキ	3910	3534	3869

雲下抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1379	ホクト	1806	1842.75	1824	1833	奥村組	4165	4938.75	4337.5
1860	戸田建	900	970	905	1861	熊谷組	3455	3975	3519.5
1888	若築建	3435	3446.5	3700.5	1898	世紀東急	1448	1832.25	1489
1964	中外炉	2563	2931.5	2639.5	2153	イージェイHD	1671	1736.5	1672.5
2209	井村屋G	2395	2469.75	2417.5	2384	SBSHD	2446	2512.75	2799
25935	伊藤園第1種優先株	1835	1865.5	1860	2737	トーメンデバ	5720	6067.5	5800
2784	アルフレッサ	2202	2303.25	2320	3003	ヒューリック	1363	1505.5	1397
3040	ソリトン	1246	1322.75	1272.5	3076	あいHD	2288	2375	2377.5
3107	ダイワボHD	2666	2724.5	2860.5	3156	レスター	2577	2926	2699.5
3179	シュッピン	1035	1168.25	1077	3284	フージャース	1001	1094.25	1011.5
3289	東急不HD	964	1095.75	965.5	3341	日本調剤	1352	1490.5	1385
3349	コスモス薬品	7261	7408.75	7625	3401	帝人	1362	1392.25	1426
3443	川田TECH	2328	2946.5	2390	3482	ロードスター	2244	2740	2416.5
3486	グローバルリンク	2149	2704.5	2174	3546	アレンザHD	1056	1074.75	1087
3662	エイチーム	598	612.25	647.5	3678	メディアドゥ	1242	1409.5	1306
3679	じげん	562	566	643.5	3688	カルタHD	1402	1534.5	1449.5
3769	GMOPG	8339	8857.75	8897.5	3834	朝日ネット	620	632.25	636.5
3901	マークラインズ	2715	3074	2859.5	3923	ラクス	2013	2059.5	2122.5
3924	ランドコンピュ	713	816	740	3937	Ubicom	1307	1368.25	1734
3994	マネーフォワード	4906	5698	5157	4023	クレハ	2772	2774.25	2845.5
4025	多木化学	3560	3631.25	3757.5	4042	東ソー	1881	2034.5	1903
4064	カーバイド	1611	1770.75	1623.5	4093	邦アセチレン	332	373	334
4118	カネカ	3698	3821.5	3872	4180	Appier	1543	1611.5	1596.5
4186	東応化	3400	4124.75	3585.5	4208	UBE	2512	2609	2517
4221	大倉工	2643	3015.75	2659.5	4385	メルカリ	2097	2248.25	2728
4502	武田薬	4105	4214.75	4386.5	4611	大日塗料	1004	1111.75	1044
4641	アルプス技	2760	2771	2785.5	4719	アルファ	3070	3204	3499
4813	ACCESS	1217	1385.75	1253.5	4828	ビーエンジ	3800	3855	3823
4928	ノエビアHD	5100	5211.25	5377.5	4967	小林製薬	5625	5654.25	6595
5121	藤コンポ	1165	1363.5	1181.5	5232	住友大阪	3700	3739.75	3861.5
5541	大平洋金	1347	1357.75	1517.5	5703	日軽金HD	1577	1792.75	1623.5
5831	しずおかFG	1217	1405	1273	5949	ユニプレス	1090	1100	1101.5
5959	岡部	759	779.75	780	6070	キャリアリンク	2407	2458.5	2544
6135	牧野フライス	5710	6052.5	5912.5	6247	日阪製作	979	1023	982.5
6301	コマツ	3921	4295.5	4013	6407	CKD	2533	2985.75	2722
6479	ミネベア	2714	2921.75	2729.5	6465	ホシザキ	4965	5274.75	5245
6653	正興電	1237	1316.25	1245.5	6504	富士電機	7778	8915.25	8005
6768	タムラ製	557	595	641	6758	ソニーG	2645	2661	2667
6859	エスベック	2559	2802	2574.5	6800	ヨコオ	1505	1532	1635.5
					6986	双葉電子	488	497.75	523

雲下抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
7181	かんぽ生命保険	2469	2821.75	2566	7182	ゆうちょ銀行	1341	1579.75	1389.5
7242	カヤバ	4785	4987.5	4800	7269	スズキ	1483	1647.25	1498.5
7347	マーキュリアHD	870	941.75	891	7447	ナガイレーベ	2221	2338	2258
7599	IDOM	994	1156.5	1074.5	7717	Vテク	2370	2484.75	2467.5
7745	A&Dホロン	2101	2463	2122	7762	シチズン	915	985.25	926
7817	パラベッド	2472	2655.5	2521.5	7856	萩原工業	1540	1548.25	1563
7949	小松ウオール	1467	1583.25	1475	7972	イトーキ	1413	1706.5	1486.5
7994	オカムラ	1894	2216.5	1935.5	8002	丸紅	2315	2588	2400
8005	スクロール	943	954.25	945	8016	オンワードHD	506	580.5	525
8053	住友商	3204	3790.5	3442	8057	内田洋行	6470	7370	6565
8075	神鋼商	6080	6660	6320	8078	阪和興	4945	5441.25	5022.5
8218	コメリ	3280	3513.75	3331	8252	丸井G	2359	2396	2376
8276	平和堂	2183	2201	2304	8304	あおぞら	2554	2613.5	2660.5
8336	武蔵野銀	2604	2910.75	2608	8388	阿波銀	2401	2655	2459
8393	宮崎銀	2616	2853.5	2696.5	8628	松井証	780	812.5	791
9248	人・夢・技術G	1609	1748.5	1679.5	9274	KPPGHD	649	701.25	670
9381	エーアイテイー	1743	1762.75	1774	9449	GMO	2554	2686.25	2555
9627	アインHD	4911	5264	5145.5	9672	都競馬	4070	4361.25	4235
9699	西尾HD	3665	3817.5	3700	9742	アイネス	1531	1608	1585.5

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認ください重要な事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

本店営業部	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8	TEL:082-245-5000	三次支店	〒728-0012 三次市十日市中2-13-26	TEL:0824-62-3121
今治営業所	〒794-0022 今治市室屋町1-1-13	TEL:0898-55-8280	可部支店	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21	TEL:082-815-2600
福山支店	〒720-0812 福山市霞町1-1-1	TEL:084-922-1321	広島西支店	〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4	TEL:082-277-2700
岡山営業所	〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3	TEL:086-222-1561	東広島支店	〒739-0014 東広島市西条昭和田2-7	TEL:082-422-3621
府中支店	〒726-0004 府中市府川町335-1	TEL:0847-45-8500	廿日市支店	〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34	TEL:0829-31-6611
尾道支店	〒722-0035 尾道市土堂2-7-11	TEL:0848-23-8121	岩国支店	〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7	TEL:0827-22-3161
因島支店	〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3	TEL:0845-22-2291	徳山支店	〒745-0034 周南市御幸通2-15	TEL:0834-31-5350
竹原支店	〒725-0026 竹原市中央5-5-5	TEL:0846-22-2295	宇部支店	〒755-0029 宇部市新天町2-3-3 ポスティビル3階	TEL:0836-31-1105
三原支店	〒723-0014 三原市城町1-25-1	TEL:0848-67-6681	萩支店	〒758-0027 萩市吉田町51-11	TEL:0838-25-2121
呉支店	〒737-0045 呉市本通3-5-4	TEL:0823-21-6401			

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>
コールセンター(コール取引) フリーアクセス:0120-506-084